

## 第5期奥尻町発展計画

# 人の絆と営みが織りなす 幸せな おくしリズム

～島じかんが紡ぐみんなの笑顔～

2011年～2020年



# I 序論 7

---

1. 発展計画の位置付け	2
(1) 計画策定の趣旨	2
(2) 計画の性格と役割	2
(3) 計画の構成と期間	2
2. 奥尻町の概要	4
(1) 位置・地勢・気候	4
(2) 周辺の町との交通	5
(3) 町の歴史と沿革	5
(4) 町内の地区と主な施設	6
(5) 人口・世帯数	7
(6) 産業構造	8
3. 奥尻町の魅力 ～島の自慢、良いところ	9
4. 奥尻町の課題	11
(1) 奥尻町を取り巻く時代の潮流	11
(2) 町民アンケート結果からの町民意向	13
(3) 奥尻町のまちづくりの課題	15

# II 基本構想 18

---

1. まちの将来像	19
(1) テーマ	19
(2) おくしリズムのプロセスと取り組み	20
(3) まちの将来イメージ ～10年後、こんなまちを目指します	21
2. まちづくりの基本方針	22
(1) まちづくりの基本理念	22
(2) まちづくりの基本方針	23
3. まちづくりの将来指標	30
4. 戦略プロジェクト	32
5. 計画の体系	34

1. 活力あるまちづくり（産業振興・雇用）	36
(1) 水産業・水産加工業	36
(2) 農林業	37
(3) 商業・鉱業・工業	38
(4) 新たな産業・雇用	40
2. 交流のまちづくり（交流・観光）	41
(1) 観光	41
(2) 島外との地域間交流	43
(3) 産業交流	43
(4) 国際交流	43
3. 美しい循環型のまちづくり（景観・環境・エネルギー）	44
(1) 土地利用	44
(2) 景観・自然環境保全	44
(3) 環境・エネルギー	44
4. あんしんで生きがいのあるまちづくり（医療・福祉・保健）	46
(1) 医療・病院	46
(2) 高齢者福祉・障がい者福祉	47
(3) 保健・健康づくり	49
(4) 防災	49
(5) 消防・救急	50
(6) 交通安全	50
5. 快適に暮らせるまちづくり（基盤整備・交通・情報）	51
(1) 居住環境	51
(2) 公園	51
(3) 道路・交通機関	51
(4) 上下水道	52
(5) 高度情報化	53
(6) 葬祭場・墓地	53
6. あたたかい人をつくるまちづくり（子育て・教育・人づくり）	54
(1) 子育て	54
(2) 教育	54
(3) 歴史文化	56
7. みんなでつくるまちづくり（行財政・町民参加・地域コミュニティ）	57
(1) 地域コミュニティ	57

(2) 町民参加のまちづくり .....	57
(3) 行政・財政 .....	58

## IV 戦略プロジェクト おくしリズムプロジェクト 67

---

- 1. 「おくしりブランド」儲かる島プロジェクト..... 62
- 2. 人が人を呼ぶ交流プロジェクト..... 63
- 3. 島くらし安心・充実プロジェクト..... 64
- 4. 町民だれもが輝くまちプロジェクト..... 65
- 5. 高齢者の生きがいと絆を育むまちプロジェクト..... 66

## 付 属 資 料

67

---

- 1. 諮問文及び答申文..... 68
- 2. 第5期奥尻町発展計画の策定経緯..... 70
- 3. 奥尻町民憲章..... 72

I

序論

# 1. 発展計画の位置づけ

---

## (1) 計画策定の趣旨

「第5期奥尻町発展計画」は、奥尻町が目指す将来像に向けたまちづくりにおいて最も上位に位置づけられ、総合的・長期的な行政運営を行うための重要な指針となる計画です。また、行政だけでなく町民や民間活動などの指針にもなるものです。

## (2) 計画の性格と役割

奥尻町発展計画では、刻々と変化する社会や経済の動向など、奥尻町を取り巻く状況の変化や多様化する町民ニーズを踏まえながら、将来に向けたまちづくりの目標と方針を定め、時代の変化に対応した新たな視点に立ったまちづくりの方向性を示します。また、町民とともに地域の将来を創造し、それを実現するための町民共通の目標と具体的な手立てを掲げます。

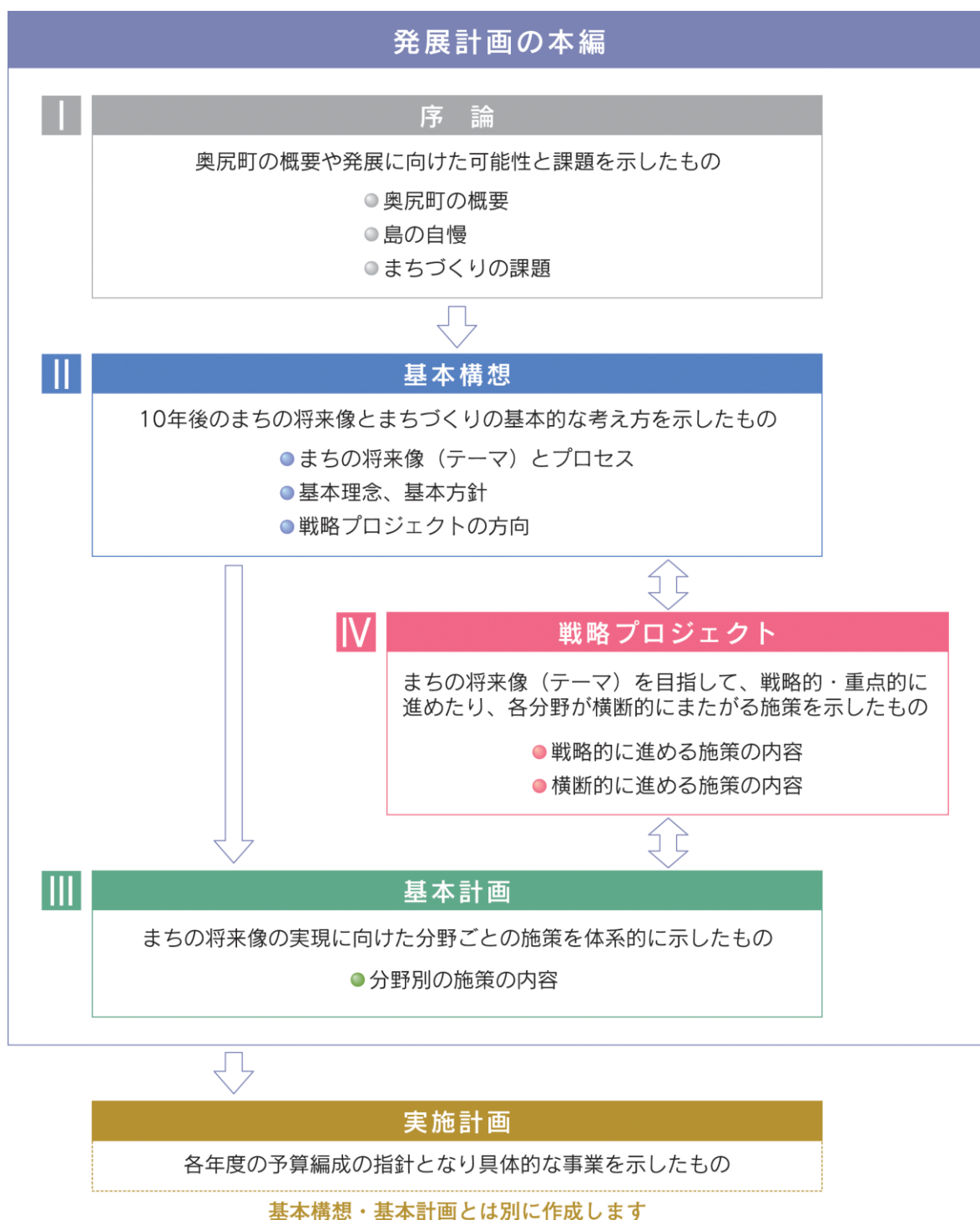
## (3) 計画の構成と期間

第5期奥尻町発展計画は「基本構想」「基本計画」「戦略プロジェクト」「実施計画」から構成されます。計画期間は平成23年度（2011年）～平成32年度（2020年）の10年間とします。

基本構想	基本構想は、「第5期奥尻町発展計画」において奥尻町の10年後の目指すべき姿を定め、まちづくりのテーマとプロセス、分野別の施策の方向性を示すまちづくりの基本方針、戦略プロジェクトの方針など、将来像の実現に向けたまちづくりの基本方針を示します。
基本計画	基本計画は、基本構想におけるまちづくりの基本方針に基づき、その実現に必要な分野ごとの施策を体系的に示した計画です。
戦略プロジェクト	戦略プロジェクトは、基本構想に定めたまちの将来像を実現するために、戦略的・重点的に進めていく事業で、基本計画の各分野が横断的に関連する事業など、島が一丸となって取り組むものです。
実施計画	実施計画は、基本計画における施策の実現を目指し、具体的な事業を示します。それぞれの事業の実施年度、事業量、実施主体、財源内訳などを明確にし、各年度の予算編成の指針とします。 期間は、平成23年度（2011年）から平成27年度（2015年）までの5ヵ年分を前期計画、平成28年度（2016年）以降を後期計画とし、必要に応じて見直しを行います。



## ■計画の構成



## 2. 奥尻町の概要

### (1) 位置・地勢・気候

奥尻町は、北海道の南西端、東経 139° 31′ 04″、北緯 42° 10′ 11″ に位置し、江差町の西北 61km・瀬棚町の南西 42km の日本海に浮かぶ離島です。東西 11km、南北 27km の南北に長い台形状の島で、周囲は 84km にも及び、複雑な海岸線は海洋資源の宝庫となっています。

町域面積は、142.98k m<sup>2</sup>で、北海道内離島では利尻島に次ぐ 2 番目に大きな島となっています。

地形は、山林 71.4%、原野 19.6%（平成 13 年調査）を占めており、島中央部には標高 584.5 m の神威山があります。島の全域は花崗岩の段丘で形成され、その段丘を横切って河川が流れるため滝が多い地形となっています。また、東海岸は比較的平野部が多く、西海岸は断崖が続く地形で、かつて硫黄が採鉱されていたこともあり、温泉が湧く島です。

昭和 35 年 4 月 20 日には、奥尻町全島をはじめ、旧大成町、旧熊石町、乙部町、江差町、上ノ国町を含む面積 17.013ha が「檜山道立自然公園」に指定されており、自然美が豊かな観光地でもあります。

気候は、北海道でも南西部に位置することから年間平均気温 9.4℃、降水量 1,333mm と比較的温暖な気候条件となっています。



## (2) 周辺の町との交通

- ・奥尻～函館間で航空機就航（1日1往復）
- ・奥尻～江差間で定期フェリー就航  
（通年運航、5～11月は2便、12～4月は1便）
- ・奥尻～せたな間で定期フェリー就航  
（季節運航、5～9月1便）

## (3) 町の歴史と沿革

町名は、古いアイヌ語の「イクシュン・シリ」その後「イクシリ」と訛ったもので、イクは「向こう」、シリは「島」という「向こうの島」を意味することが由来となっています。歴史は古く、約8千年前の縄文時代早期に人が移り住み、多くの貴重な遺跡や遺物が出土しています。

1767年（明和4年）に田口九兵衛が漁業を営むために移住して以来、永住する人が増えたといわれ、明治2年に奥尻島全体が「奥尻郡」となり、明治12年に戸長役場が置かれ、明治39年に「奥尻村」、昭和41年に現在の「奥尻町」となりました。

島の基幹産業は、古くから水産業が盛んで「夢の島」「宝の島」と呼ばれ、明治末期まではニシン漁が主体であったが、近年はイカやホッケの近海漁業や、ウニ、アワビを中心とした磯根漁業が主であり、その豊富な海の幸を求めて観光客が増え、水産業と観光業に力が注がれています。

奥尻港湾、奥尻空港の整備、江差・瀬棚間の定期フェリー就航など、交通面を中心に島の生活環境の整備も進んでいたが、平成5年の「北海道南西沖地震」で壊滅的な被害を受けました。

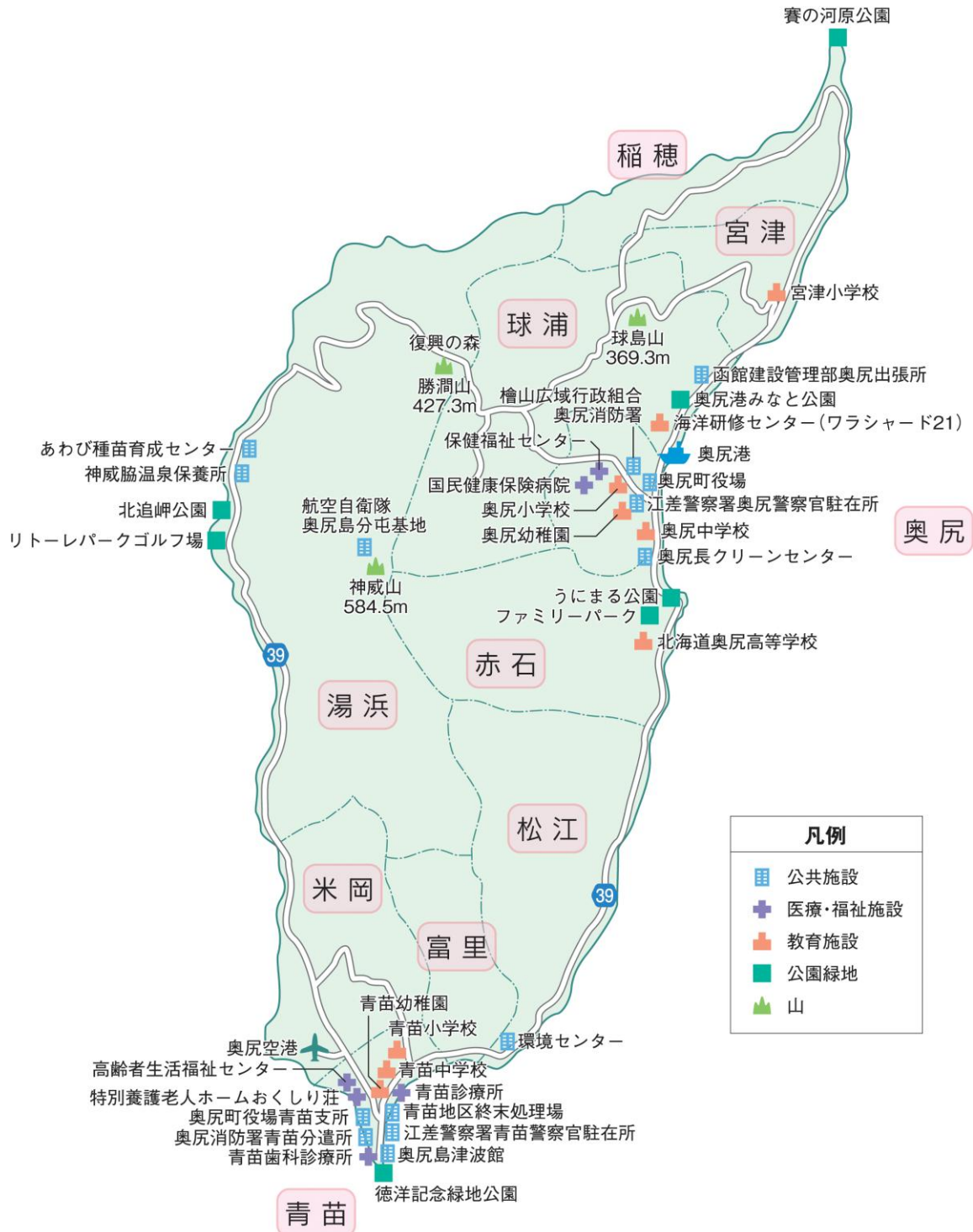
当時、島の再建は絶望的といわれたが、全国からの物心両面からの温かい支援や協力によって町民が一丸となって復興に立ち上がり、策定した「奥尻町災害復興計画」に沿った防災対策をはじめとする復興をわずか5年間で果たすことができ、平成10年に「完全復興宣言」をするに至っています。

その後も「災害に強い町」を基調にまちづくりを進め、歴史に裏打ちされた先人の苦労や偉業を尊びながら、豊富な水産資源や貴重な観光資源を活かした奥尻町の更なる発展と、ここに住む町民の幸福を願いながら現在に至っています。

#### (4) 町内の地区と主な施設

奥尻町は、大きく松江地区、富里地区、青苗地区、米岡地区、湯浜地区（神威脇）からなる南部地域、奥尻地区や赤石地区からなる中部地域、稲穂地区、宮津地区、球浦地区、湯浜地区からなる北部地域に分けられます。

また、町内には各地区に公共施設等が点在しており、主な公共施設は奥尻地区、青苗地区に集中しています。

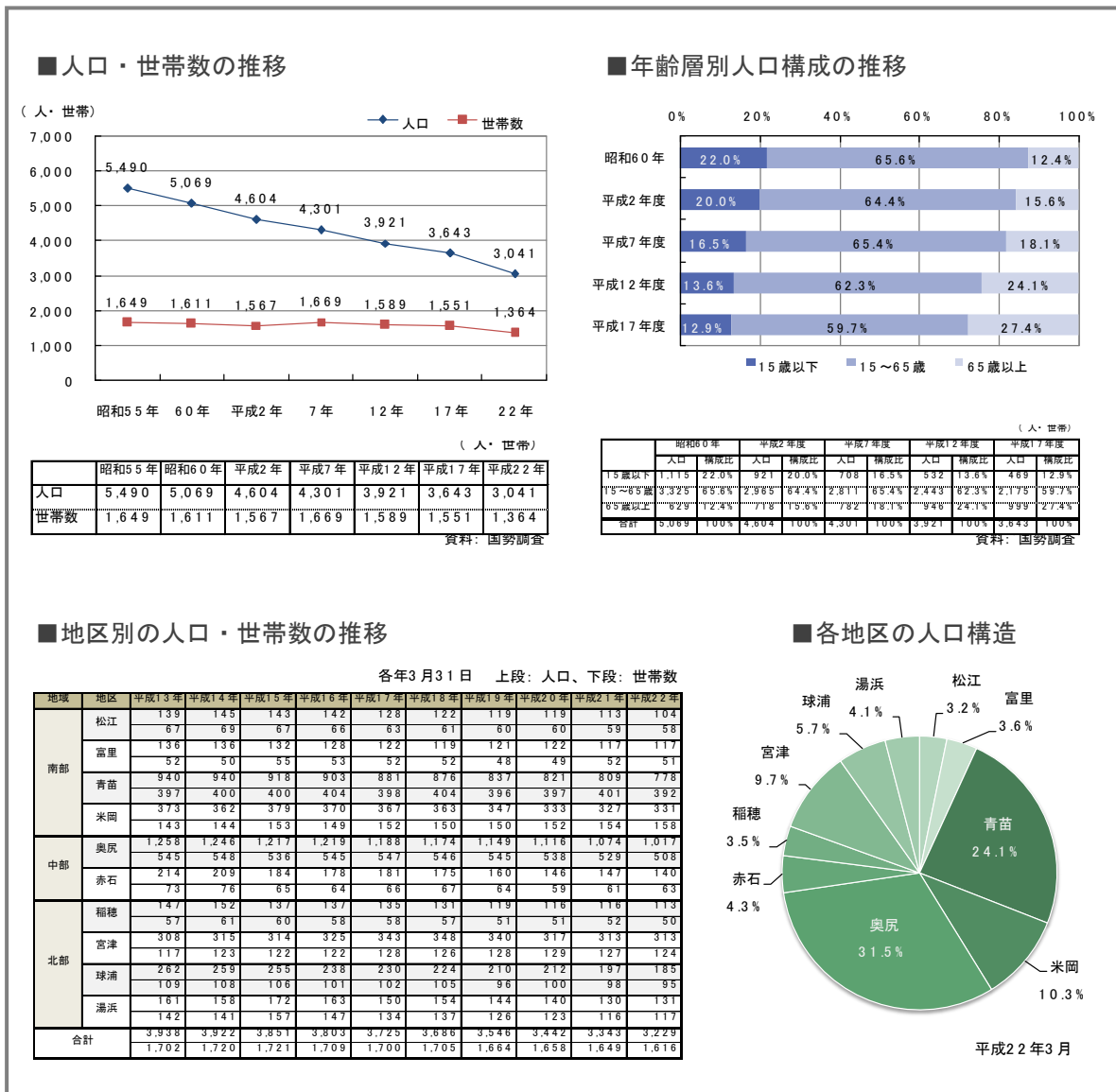


### (5) 人口・世帯数

奥尻町の人口は、平成22年国勢調査（速報値）によると3,041人となっており、年々減少傾向にあり、10年前の平成12年国勢調査に比べ、880人（22.4%）の減少となっています。世帯数については、平成17年までほぼ横ばいで推移していましたが、平成22年には平成17年から187世帯が減少し、1,364世帯となっています。

また、年齢層別の人口構成を見ると、平成17年国勢調査では、15歳以下の幼年人口が469人（12.9%）、65歳以上の高齢人口が999人（27.4%）と少子高齢化が進んでおり、高齢化率については、北海道（21.4%）と比較しても高齢化率が高い状況となっています。

地区別の人口では、奥尻地区と青苗地区の割合が高いものの、いずれの地区も減少傾向にあり、数年後には地区の人口100人、世帯数50世帯を下回ることが予想される地区もあります。

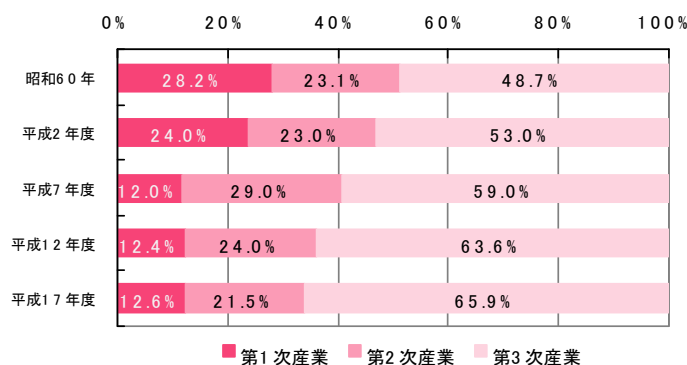


## (6) 産業構造

奥尻町の就業人口については、平成7年に2,249人まで増加したが、その後減少傾向にあり、平成17年には1,852人となっています。

産業別人口では、第1次産業及び第2次産業の人口が減少し、平成17年には第3次産業の割合が約65.9%に増加しています。

■ 産業別就業人口の推移

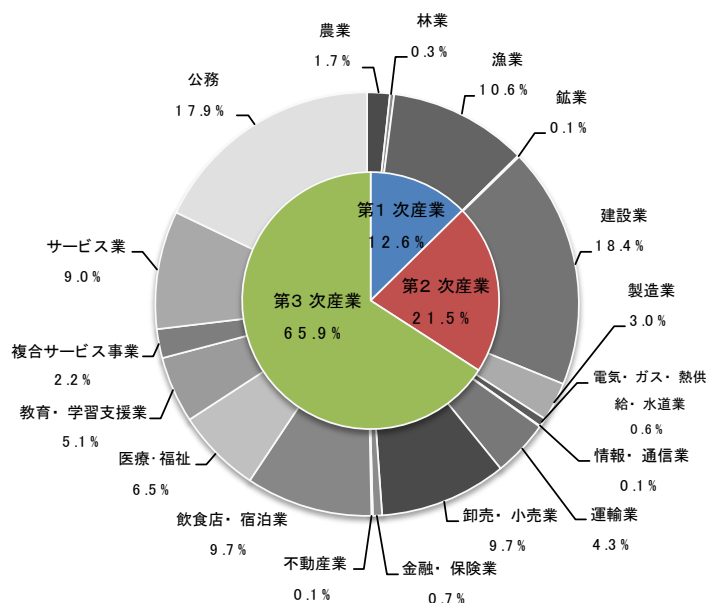


(人・世帯)

	昭和60年		平成2年度		平成7年度		平成12年度		平成17年度	
	人口	構成比	人口	構成比	人口	構成比	人口	構成比	人口	構成比
第1次産業	660	28.2%	518	24.0%	271	12.0%	256	12.4%	234	12.6%
第2次産業	539	23.1%	498	23.0%	652	29.0%	493	24.0%	398	21.5%
第3次産業	1,139	48.7%	1,146	53.0%	1,326	59.0%	1,309	63.6%	1,220	65.9%
合計	2,338	100%	2,162	100%	2,249	100%	2,058	100%	1,852	100%

資料：国勢調査

■ 産業別就業人口の推移



### 3. 奥尻町の魅力 ～島の自慢、良いところ

---

奥尻町には、豊かな自然や新鮮な水産物などはもちろん、この島で暮らす人々が育んできた島特有の歴史・文化・風土など、町民が自慢できる魅力がたくさんあります。

第5期奥尻町発展計画では、島の魅力をさらに高め、町民の暮らしを支えていく計画とします。離島であるというハンディキャップを克服し、町民が自慢できる奥尻町を目指します。



#### “おくしりじかん”が流れています

奥尻町にはここにしかない“おくしりじかん”が流れています。のんびりゆったり流れる“おくしりじかん”は島独自の気候風土が生み出したもので、島に暮らす人びとには奥尻島特有の「リズム」が宿っています。時に、離島では自然の力によって、否応なしに“おくしりじかん”を過ごさなければならないこともあります。

でも、そんな時も慌てない。おくしりじかに身をまかせ、一日の過ごし方を考えるのです。奥尻町の人々は自然との付き合い方として、どんなときものんびりゆったり、楽しく過ごせる方法を知っているのです。



#### 島で暮らす人々の人あたり・人情味がいい

奥尻町の人々は表情がおだやか。それは互いに顔が見える関係で培ってきた信頼関係と、支え合いの精神が育まれているからです。一人ぼっちで遊ぶ近所の子どもを気にかける気持ち、井戸端会議に最近顔を見せない夫婦を心配する気持ち、遠く離れた故郷を想う気持ち、島にはじめてやってきた人へのやさしい心遣い。そして、いつもの挨拶が町民同士の絆を強くしています。近所づきあいや島への誇り意識、愛着心があるからこそ安心安全で快適な暮らしができるのです。



#### 島まつりにはみんなが集います

奥尻町には、奥尻三大祭りと呼ばれる代表的な島まつりがあります。「賽の河原まつり」では供養のための灯籠流しが行われ、「室津まつり」では漁港の町らしく漁船団による海上渡御で大漁と安全を祈願し、「なべつるまつり」は季節をしめくくる海産物や島の味覚を堪能することができます。島の歴史・文化・風土を守り受け継いでいるからこそ、それぞれに特徴のあるお祭りにいまでも島民が集うのです。



## 森・水・生き物がつながっています

奥尻町にはウニやアワビをはじめとする豊富で質の高い海の幸がたくさんあります。その存在は、豊かな森林資源が支えているのです。奥尻町は約7割が森林で覆われており、その大半をブナ林が占めています。北限のブナ林は保水力が高く、自然の治山・治水効果を持つだけでなく、島の人々へ豊富な水を供給し、農畜産業などの産業の場でも利用され、島の暮らしを支えています。

さりげなくもしっかりと森・海・生き物の環境が守られていることで、奥尻町ならではの豊かな食の資源も支えられているのです。



## 豊かな食材と食文化が育まれています

奥尻町の豊かな自然環境は豊富な食材を生んでいます。島では魚介類などの海産物の他に、ブナ林に蓄えられた水でつくられた米やアスパラガス、ぶどう、肉牛などの農畜産業も営まれ、山林では山菜も豊富に見ることができます。海の幸とともに山の幸も豊かな食の資源としてあります。

近年、これらの食材を生かした「奥尻ワイン」や「奥尻ブイヤベース」、「三平汁」など奥尻町の食文化を発展・創造していく取り組みも始まっています。豊かな食材が島民の新しい取り組みを後押ししています。



## 震災復興の歴史が生きています

奥尻町は1993年（平成5年）7月に、北海道南西沖地震が発生して津波や土砂災害などにより多大な被害を受けました。震災発生から5年後の1998年（平成10年）3月に「完全復興宣言」を行い、被災してからおよそ18年を経た今は震災前の生活を取り戻すに至っています。震災そして復興への道のりでは、隣の人との支えあいや助け合いなど、人とのつながりや絆が強く育まれました。

災害の記憶と教訓は、町民一人ひとりの心に強く刻まれており、奥尻島津波館を拠点に後世にも語り継がれています。町民が力を合わせて震災から復興したたくましい精神や町民の絆を継承し、これからも奥尻町に対する誇り意識や愛着心を育んでいかなければなりません。



## 4. 奥尻町の課題

---

### (1) 奥尻町を取り巻く時代の潮流

急激に変化する社会情勢のなか、奥尻町を取り巻く社会経済や人々の暮らし、島の社会環境は急速に変化しています。

豊かで活力あふれる奥尻町を発展させていくためには、時代の潮流を的確に見極め、新たな視点を持って奥尻町のまちづくり・しまづくりを進める必要があります。

そこで、第5期奥尻町発展計画の策定にあたり、奥尻町や町民を取り巻く時代の潮流について以下のとおり整理します。

#### ○地域主権への対応

---

少子高齢社会や人口減少社会が到来する中、地域から人材や資金などが流出する中央集権型社会から、豊かな地域資源や再生可能なクリーンエネルギー、安全で豊富な食料、歴史文化資産などの地域資源を最大限活用する仕組みづくりが求められています。それにより分散自立・地産地消・低炭素型に転換していく「地域の自給力と創富力を高める地域主権型社会」にむけた政策改革が求められています。

その中で、活力ある地域社会を形成し、地域主権を確立するため、それぞれの地域で様々な主体が協働・連携して地域資源を最大限活用しながら、地域力を高めるための多様な取り組みを展開することが必要となっています。

これらを踏まえ、奥尻町の自然や歴史・文化・風土、さらには離島の特徴を有効活用した地域主権型の社会を実現することが必要となっています。

#### ○新たな地域産業の創出、ブランド化への対応

---

経済のグローバル化が強まる中で、我が国の産業構造も大きく変化することが予想されます。加えて、高度情報化によるインターネットの普及などから、情報やサービス、知識等ソフト的な要素の占める部分が経済社会の中で大きくなるとともに、地域間競争も強まっています。

このような産業経済環境の変化に伴い、奥尻町の資源を活用した水産加工業の推進や水産業と観光との組み合わせ、おくしりブランドの強化など、既存産業の高付加価値化や新たな産業の創造が重要となります。

## ○多様な安心安全への対応

---

震災復興が進んでいるものの今後も自然災害への対応が求められるとともに、希薄化しつつある地域コミュニティや食への安心安全が求められています。

また、高齢者が増えてくる中では、暮らしにおける医療や福祉など、離島であるがゆえの不利な条件を克服し、子どもから高齢者まで、誰もが安心して島での暮らしを充実させることが重要となります。

## ○人口減少・少子高齢社会への対応

---

近年、我が国では人口減少が進展しており、少子高齢社会へと向かっています。

奥尻町は、平成 22 年国勢調査（速報値）では人口が 3,041 人と減少傾向にあり、高齢化も進んでいます。さらに全国及び北海道の傾向からは、今後も加速度的な少子高齢社会が進むことが予想されています。

このため、少子高齢社会への対応を視野に入れ、島ならではの課題に対応した完結型医療や福祉、子育て環境などを充実させることで、安心して安全な暮らしやすいまちづくり、生きがいのあるまちづくりを進めることが重要になっています。

## ○環境問題への対応

---

世界的な課題として、地球温暖化をはじめ、環境汚染やゴミなど問題が深刻化しています。我が国では CO<sub>2</sub> 排出量を 2020 年までに 1990 年度比 25%削減することを政府目標に掲げ、地方自治体においても行政や企業、町民における環境負荷を抑える取り組みが急務となっています。

奥尻町では産業廃棄物以外は島内で処理しており、火力、水力を使った発電により電力も島内で循環しています。今後は、ゼロエミッションの取り組みなど、環境問題に対応した取り組みも重要になると考えられます。

## ○高度情報化社会への対応

---

今後は IT から更に進展し、人と人、人とモノを結ぶコミュニケーションを重要視した ICT (Information and Communication Technology) の時代となることが予想されます。これからは ICT を日常生活や保健福祉・医療・子育て、教育、産業などの様々な分野で活用することが可能になり、更なる高度情報化社会への対応が求められます。

一方で、これら情報化の進展や通信手段の普及によって、これまでのコミュニケーションの崩壊やこれに伴う地域社会の活力低下、ハイテク犯罪やプライバシーの侵害なども懸念されます。高度情報化が進展する中では、若い世代に限らず高齢者もこの情報化に対応・活用できるようにすることが必要で高度情報化社会への適切な対応が求められています。

## (2) 町民アンケート結果からの町民意向

第5期奥尻町発展計画の策定にあたり、奥尻町の全世帯を対象（配布数 1,497）に、今後のまちづくりに関するアンケート調査を行いました。アンケートの回答者数は 704（回収率約 47%）となっています。

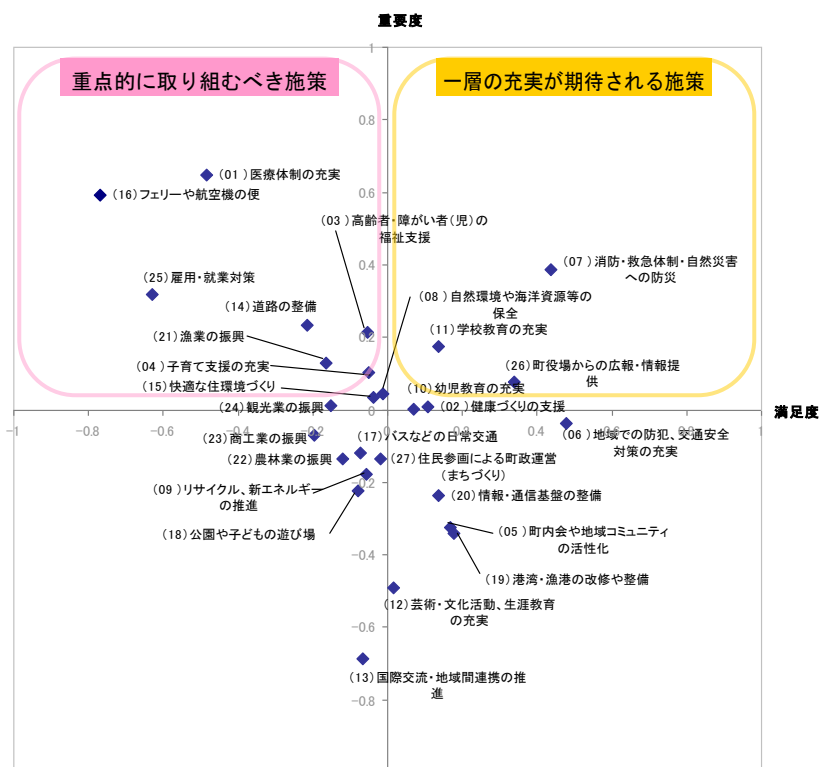
アンケート調査では、奥尻町のイメージや、暮らしと今後のまちづくりに対する評価、分野別の施策の方向性に関する意向を把握しました。奥尻町のまちづくり・しまづくりに関する意見概要は、以下のとおりです。

### \* 奥尻町のイメージ

奥尻町に対するイメージとして、「親しみを感じる町」（約 55%）と「あたたかい町」（約 52%）のイメージが高く、「親しみを感じる町」については若年層も奥尻町に親しみを感じています。「あたたかい町」「親しみを感じる町」の要素である町民同士の近所付き合いや地域コミュニティを魅力と捉え「活気のある元気な町」を目指すことが求められています。

### \* 満足度と重要度

重点的に取り組むべき施策と、一層の充実が期待される施策としては、「基盤整備」や「産業振興」、「子育て」や「教育」など様々な項目があげられており、安心安全な暮らしや利便性の高い暮らしが求められています。



※グラフは、各項目の「満足度」「重要度」と点数化し処理したグラフである。

#### \* 産業振興

奥尻町の地域産業について「漁業の振興（55%）」、「観光・交流関連産業の推進（29%）」と「地域資源を活かした特産品開発・振興（29%）」が高く、基幹産業である漁業や観光をベースにしながら、特産品開発などを進めることが求められています。

漁業や農業においては、「つくり育てる漁業の推進（53%）」、農畜産物の「地元販売・地元消費の推進（55%）」のほか、高齢化や後継者不足の課題から担い手育成やブランド化による付加価値化が重要となっています。

#### \* 観光

観光振興について、「優れた自然や景観の保全・活用、場の整備（48%）」が多く、その他「観光のまちとしての魅力づくり」や「交通体系の整備、利用促進」、「滞在型や体験型の観光メニューの創出」、「漁業など地域産業と連携した体験施設の整備」などもあげられています。

奥尻町の資源である自然や景観を有効に活用するには、観光協会・商工会等の関連団体の組織強化と受入れ体制の整備、特産品開発などの充実が求められているほか、離島観光としての交通網の整備や体験施設などのハード整備も重要となっています。

#### \* 定住促進・子育て支援

定住促進については、「雇用の創出、起業への支援（50%）」や「医療や子育て支援の充実（46%）」があげられており、町内での雇用機会の創出による、子育て世代も安心・安定して暮らせる環境づくりが求められています。

子育て支援としては、出産や子育てを安心してできるような経済支援とともに、出産後も女性が安心して働くことができる環境づくりが求められています。

#### \* 高齢者福祉・医療

高齢者福祉については、今後、高齢社会が進む中で、「老人ホームなどの入所施設の充実（64%）」、「家族の在宅介護の負担の軽減（40%）」などに対応した様々なサービスや取り組みが必要になっています。また「高齢者向けの医療や介護、健康づくり対策の充実」などの日常的な健康管理や病気とうまく付き合う健康づくりも重要となります。

#### \* 地域コミュニティ

「町民の親しみやすさ」は島の魅力としてあげられており、昔からの近所づきあいは続いているものの、近所づきあいに対する満足度は意見が分かれており、地域コミュニティの希薄化が懸念されます。

### (3) 奥尻町のまちづくりの課題

## どうする？奥尻町のまちづくり

### ～島が一丸となって島デカラを高めることが重要です～

今後、島内の人口減少と高齢化が進むことで、町の産業や医療、保健・福祉、地域コミュニティの維持にも大きな影響を与えます。

今後のまちづくりの課題に向けて、行政と町民、民間企業など、島が一丸となって協力、連携していかなければなりません。奥尻町の発展のために、町民のみなさんも一緒に考え、行動していきましょう。

#### ●人口が減少し、3人に1人が高齢者のまちになります ～町民が一体となった取り組み

奥尻町の人口は年々減少しており、全国的にも人口増加が見込まれない状況において、10年後の人口推計では2,825人、さらに年々人口が減少し高齢者が増える限界集落※への一途を辿っていくことが予想されます。

そうした中では、冠婚葬祭をはじめ、様々な町民の社会生活も困難になっていきます。また高齢化により農業や漁業、商売をも継続することが難しい状況となっていきます。

そこで、将来に向けたまちづくりのためには、人口が減少する島の規模に合わせ、町民や行政が一体となった島一丸の取り組みが必要です。例えば、町民生活において町民同士が支えあう相互扶助や地域福祉の仕組みが求められ、産業振興では後継者育成とあわせて、高齢社会に対応した産業の基盤整備が必要となります。

高齢者が増える中、支える人手や財源がないときに、奥尻町らしい元気なまちをつくっていくためにどうすればよいか、みんなが考えていかなければなりません。

#### ●島デカラを高めることが必要です ～おくしりブランドの構築

近年、後継者問題や地域間競争、高齢化による就業者の減少など、経済環境は多くの課題を抱え、第1次産業を取り巻く環境は厳しさを増しています。地域主権に対応して地域力を高めるためには、奥尻町の経済を支える水産業や農業を中心とした、産業振興を進めることが必要です。

そのためには、つくり育てる漁業としての養殖を進めるとともに、高付加価値化によるおくしりブランドの確立が必要です。農業においても奥尻ワインなどを中心に、地域ブランドの構築と市場性を踏まえた流通対策を進めることが必要です。

また、奥尻町の資源を取り入れた島ならではの新しい産業を創出することも重要であり、どのような産業ができるかを考えることが必要です。

### ●島の外との交流が元気の素になります ～島が一体となった戦略的な観光振興

今後、人口減少・高齢社会が避けられない状況では、島外からの交流を活発化させることで島の活性化を図ることが必要です。

奥尻町では、離島特有の自然や水産物などの資源を活かした観光を推進していますが、今後はターゲットを細分化し、戦略的に観光プロジェクトを進めることが求められています。

また、そのためには観光従事者のみならず、島全体が一体となって、町民一人ひとりが観光客を受け入れるおもてなし意識の醸成とそれを進める人材育成や組織づくりが重要になります。

奥尻町を訪れる人みんなが楽しみ、また来たいと思う島にするためには、町民みんながおもてなしの気持ちを持って接することが大切です。

### ●子どもが少なくなります ～安心して子どもを生み育てることができるまちへ

奥尻町では、新おくしり子どもプランが策定され次世代育成支援を進めているところですが、現状では年少人口（0歳～14歳）が減少しており、出生率も1.7～1.9と人口維持の最低限とされる2.08を下回っています。

さらに、働きたいが働く場所がないことや、子どもを預ける場所がないため就労できないことなどのほか、経済的不安や医療体制への不安などが課題となっています。

そのため、島で安心して子どもを育てることができる環境整備や子育てを支援する地域づくりが必要です。それにより定住人口減少への歯止めとなり、将来的な奥尻町の宝である次世代を担う人材となります。

### ●隣近所の付き合い、無関心ではいられなくなります ～かつての良き地域コミュニティの形成

かつての奥尻町では、車や自宅の鍵をかけなくても大丈夫という安心感と、町民同士のつながり、そこから生まれる奥尻町ならではの誇るべき習慣がありました。しかし近年では、ライフスタイルの多様化が進むとともに地域コミュニティが希薄化してきており、これまでの誇るべき習慣もその存在が厳しい状況にあります。

今後、高齢者が増加する中では、町民がお互いに見守り支えあう体制を築き直すことが重要であり、かつての奥尻町のように良好な地域コミュニティや近所づきあいの環境を取り戻していくことが必要です。

奥尻町に暮らす町民が安心安全に住み続けるためには、町民一人ひとりの少しの気遣いや協力が重要なのです。

### ●島で暮らすことができない問題が出てきます ～島の中での安定した生活の実現

奥尻町では産業基盤が脆弱になり就労人口が減少しています。冬期間は島内での雇用が少ないため、島外に出稼ぎに出ている人も多くいます。また、奥尻町での暮らしを希望する人がいても、働く場がないことから、移住推進が難しい状況にあります。そのため、産業交流などによる新たな産業の創出や起業促進を進めることで、島内での雇用や就労機会を創出することが必要です。雇用環境の創出では、既存の産業基盤を強化することに加え、水産業と水産加工業、水産業と農畜産業などの垣根を低くすることが重要です。

また、離島という立地条件においては、高齢者や子どもの医療、福祉に対する不安、子育て環境に対する不安があります。そのため、島の中での完結型の医療体制や子育て支援の充実が求められます。

そのため、町民の島での暮らしを支える環境づくりを継続して進めることが重要であり、これらの取り組みによって定住促進につなげていくことが必要です。

### ●今後のまちづくりには、町民のチカラが欠かせません ～町民参加のまちづくり

奥尻町のまちづくりを進めていくためには、複雑化する課題に対応し、多様化するニーズにきめ細かく対応しなければなりません。そのためには行政主導でのまちづくりに限界がきています。財政状況を見ても奥尻町を取り巻く状況は厳しさを増しています。

そこで、この課題を解決していくためには、町民のみなさんのチカラを集結した「島ヂカラ」が必要となってきます。各自の何気ない日常のゴミ分別や健康づくりをしっかりとすること、おもてなしの心を持って観光客に接すること、ご近所さんの見守り運動や困りごとに手を差し伸べる助け合い、さらには一歩踏み出して地域の行事に積極的に参加すること、自分の経験や特技を活かした子育てボランティア、歴史・文化・風土を子どもたちに語り聞かせることなど、町民一人ひとりの活動がまちづくりにつながっていくのです。

さらに、まちづくりに関する会合などに積極的に参加する、他人の意見は否定せず建設的に議論する、話し合いの場に参加できなくても行政からの情報をしっかりと受けとめ行動するなど、このような心構えでまちづくりに参加する事も大きなチカラとなります。

町民一人ひとりが奥尻町に愛着心を持って、これからもずっと住み続けていくためには、町民みんながまちづくりに参加し、考え行動していかなければなりません。そのときがいま来ています。

※限界集落：高齢化が進み、集落としての社会的共同生活の機能維持が限界に達している状態の集落。（高知大学名誉教授大野晃氏は次のとおり定義している。「65歳以上の高齢者が集落人口の半数を超え、冠婚葬祭をはじめ田役、道役などの社会的共同生活の維持が困難な状態に置かれている集落」）

Ⅱ

基本構想



## 1. まちの将来像

---

### (1) テーマ

# 人の絆と営みが織りなす幸せなおくしリズム ～島じかんが紡ぐみんなの笑顔～

奥尻町には、豊かな自然と美しい景観、歴史、暮らしの下に、助け合いの精神を形成する人の“絆”があり、そして、あたたかい絆の中で育まれたゆったりした島じかんの流れと島の営みがあり、それが「奥尻町らしさ」につながっています。このゆったりした奥尻町のリズムが「奥尻町らしさ」であり、そのリズムに誰もが幸せを感じ、島で暮らす人も、訪れる人も笑顔あふれるまちを望んでいます。

奥尻町はこれまで町民同士の信頼関係から生まれる安心感と、人と人のつながりや支えあいの気持ち、島への誇り意識や愛着心が育んできた歴史・文化・風土、そして豊かな自然を活かした暮らしを大切にしてきました。

時には素早く創造・行動し、時にはじっくり時間をかけて育み、また、時にはみんなの幸せの基盤づくりを継続して取り組み、メリハリのあるリズム感でまちづくりを進めてきました。

これからも町民同士、町民と行政、町民と観光客など、様々な人と人の絆を強くしていきながら、「島じかんが紡ぐみんなの笑顔」の実現を目指していきます。

奥尻町ではこれからの10年で、人の絆と営みによる「おくしリズム」をより確かなものにし、「おくしリズム」を通して、産業や地域づくりが活発化し、島の発展や幸せが生まれ、誰もが安心して暮らし、安心して訪れることができるまちになることを目指します。

## (2) おくしリズムのプロセスと取り組み

「人の絆と営みが織りなす幸せなおくしリズム」に向けて、町民一人でも、家庭でも、集落でも、島全体でも、それぞれの単位でできることを見つけ、まちづくりを進めていきます。町民一人の取り組みから、徐々に広がって島全体の取り組みとなり、島ぐるみのまちづくりにつなげていきます。

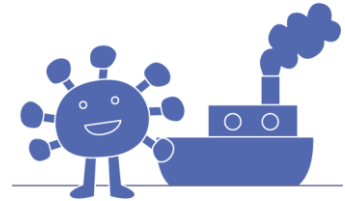
ゆったりした島じかんの中で流れる『おくしリズム』は、「すぐやること」「じっくりやること」、そして「ずっとやること」に分けて取り組んでいきます。町民も行政も、島一丸となってまちづくりを進めていきます。

	『すぐ』やること	『じっくり』やること	『ずっと』やること
 <b>町民</b> 自らで	<ul style="list-style-type: none"> <li>●島の魅力をもう一度考える(島への愛着、誇り)</li> <li>●町民・観光客などにしっかりあいさつをする(コミュニティ)</li> <li>●地域の行事に積極的に参加する(まちづくり参加)</li> <li>●しっかり納税をする(行政)</li> <li>●行政からの情報を確認する(まちづくり)</li> <li>●島内で買い物をする(商工業)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●島のためにできることを見つけ、少しずつ行動する(まちづくり参加)</li> <li>●島の宝や魅力をさがしビジネスにつながるように考える(産業)</li> <li>●それぞれの個性や特技を活かして、新しい取り組みをする(生きがい)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●隣人、ご近所さんへのあいさつや気配りをする(コミュニティ)</li> <li>●奥尻町の歴史・文化・風土を次世代に語り伝える(文化)</li> <li>●日々の健康づくりに意識して行動する(保健)</li> <li>●防災に対する心構えを常に持つ(防災)</li> <li>●島内の美化意識を磨く(景観)</li> </ul>
 <b>集落</b> で	<ul style="list-style-type: none"> <li>●みんなが集まれる場所をつくる(地域内交流)</li> <li>●地域で子育てや子どもの見守りのしくみを考える(子育て)</li> <li>●独り暮らしのお年寄りの住まいを確認し地域でしっかり共有する、ネットワークをつくる(地域福祉、コミュニティ)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●地域の自治体制を整える(コミュニティ)</li> <li>●集落や地域間の交流や連携を深める(交流)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●地域での支えあいの気持ちで、困ったことなど助け合う(地域福祉)</li> <li>●地域でできることを考え、行政に頼らないで、みんなで協力して行動する(まちづくり参加)</li> </ul>
 <b>行政</b> で	<ul style="list-style-type: none"> <li>●町民参加の場づくりを進める(まちづくり)</li> <li>●島の資源を活かした儲かる島づくりを進める(産業)</li> <li>●異業種交流の場をつくる(交流)</li> <li>●水産業や農畜産業の加工場などの雇用をつくる(雇用)</li> <li>●建物や上下水道などの長寿命化を進める(基盤整備)</li> <li>●離島医療、福祉を進める(医療、福祉)</li> <li>●税等の収納率を高める(財政)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●島の森林・海洋資源を守り育てる(自然)</li> <li>●女性やお年寄りなどたくさんの方が働ける環境づくりを進める(生きがい、雇用)</li> <li>●離島ならではの教育プログラムをつくる(教育)</li> <li>●お年寄りのあんしん安全な環境をつくる(地域福祉)</li> <li>●新エネルギーに関連した産業や雇用をつくる(産業、雇用)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●暮らしを支える基盤整備や医療福祉体制を整える(医療・福祉)</li> <li>●町民のまちづくり活動をバックアップする(まちづくり参加)</li> <li>●離島価格の是正に取り組む(商業)</li> <li>●町民の声に対応した質の高いサービスを提供する(行財政)</li> <li>●町民への広報や情報発信を充実させる(行財政)</li> <li>●利用しやすい交通アクセスを確保する(交通)</li> </ul>
 <b>島全体</b> で	<ul style="list-style-type: none"> <li>●新しい産業やビジネスの仲間や機会を見つける(産業)</li> <li>●町民みんなのおもてなしを高める(観光)</li> <li>●新エネルギー導入で地球に優しい島づくりを進める(環境)</li> <li>●人づくりのプログラムを実践する(人材育成)</li> <li>●誰もがICTを活用できるようにする(情報化)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●おくしブランドをつくり広める(産業・景観)</li> <li>●奥尻町のファンやリピーターを増やす(交流)</li> <li>●観光に関わる組織をつくる(観光)</li> <li>●島を担う様々な人材やリーダーを育てる(人材育成)</li> <li>●未開発資源を使って新たな商品開発にチャレンジ(商業)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●町民みんなが島のセールスマン(観光PR)</li> <li>●町民や地域のつながり、ネットワークを深める(地域コミュニティ)</li> <li>●あんしんな出産・子育て環境を整える(子育て)</li> <li>●島の歴史・文化・風土、景観、水産資源を守る(自然、景観、産業)</li> <li>●町民と行政が一体となったまちづくりを進める(まちづくり)</li> </ul>

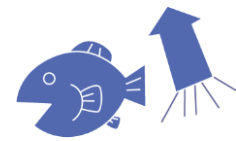
### (3) まちの将来イメージ ~10年後、こんなまちを目指します

人口減少や高齢社会が進む中、それらに適応した既存施設の活用や産業基盤の整備、地域の支えあいの精神の醸成により、奥尻町ならではの暮らしが実現しています。

●漁業や農業の面では、おくしりブランドが構築され、異業種交流などにより新しい産業が生まれ、儲かる島になっています。



●島の様々な資源を有効に活用した戦略的な観光振興が図られ、多くの観光客が訪れており、観光客を全ての町民がおもてなしの心を持って迎えています。



そのおかげで奥尻のファンやリピーターが増加しています。

●コミュニティビジネスの創出や水産加工場の整備などにより高齢の方も生きがいを持って働き、町民だれもが安定した島暮らしを送っています。



●子育て支援の充実により、女性も働くことができるまちになっています。



●町民の日々の健康づくりの意識が高まるとともに、町民みんなが元気で笑顔があふれています。



●医療・福祉・保健の複合的な施設が整備され、島でできることは島で行い、安心した暮らしが充実しています。



●町民が交流する場に子どもからお年寄りまで集まり、町民の自主的な地域活動が活発化しています。また、町民同士の近所付き合いや気配りによって、互いに支えあう体制ができ、充実した暮らしが実現されています。



●子どもの教育プログラムの充実や外国語教育などにより、島での教育水準が高まるとともに、世界で活躍する人材が育っています。



●町民のまちづくりの意識が高まり、島への誇り意識や愛着心を持って、まちづくりが進められています。

## 2. まちづくりの基本方針

### (1) まちづくりの基本理念

奥尻町のまちづくりを進める上では、「離島」というハンディキャップを踏まえつつ、それを魅力や特徴として活かすことが重要であり、それが幸せな「おくしリズム」につながります。

平成5年の震災から復興が進められてきましたが、近年では人口減少や少子高齢社会、環境問題の深刻化、地域主権への移行など社会状況が大きく変化しており、「島ぐるみ」のまちづくりが求められます。

そのためには、奥尻町という島のアイデンティティを活かして、島らしさを守り、育ていくことが重要です。さらに、離島というハンディキャップを活かし、島のなかで完結する豊かな暮らしの実現と、島の魅力情報の発信を展開します。そのためには町民や行政・企業など、島全体で取り組んでいきます。

## 島ぐるみのまちづくり

島

らしさを

四方を海に囲まれた離島ならではの特性や資源を十分に活用し、「島らしさ」を発揮していきます。奥尻らしさが、地域産業を活発にし、まちの底力となり、まちの活力を高めます。

島

のなかで

「島でできることは島のなかで」。町民のココロもカラダも健やかに、そして安心や生きがいを感じる島くらしができるまちを目指します。

島

からそとへ

島外との交流は、島の元気の素です。「島からそとへ」そして「そとから島へ」のつながりを強めます。島からそとへつながることによって、奥尻への愛着や魅力が高まることにも繋がります。

島

とともに

子どもからお年寄りまで、全ての町民がいままでも、そしてこれからも島の歴史・文化・風土を受けとめ、育みながら「島とともに」着実に歩いていくことができるまちを目指します。

## (2) まちづくりの基本方針

「人の絆と営みが織りなす幸せなおくしリズム」を目指して、島の資源を活かしながら、島全体による「島ぐるみ」でのまちづくりを推進するため、基本方針を以下のとおりとします。

まちづくりの基本方針	
1	活力あるまちづくり（産業振興・雇用）
2	交流のまちづくり（交流・観光）
3	美しい循環型のまちづくり（景観・環境・エネルギー）
4	あんしんで生きがいのあるまちづくり（医療・福祉・保健）
5	快適に暮らせるまちづくり（基盤整備・交通・情報）
6	あたたかい人をつくるまちづくり（子育て・教育・人づくり）
7	みんなで作るまちづくり（行財政・町民参加・地域コミュニティ）

### 1

#### 活力あるまちづくり（産業振興・雇用）

##### 1) 水産業・水産加工業

奥尻町の中核産業である水産業について、つくり育てる漁業を強化するとともに、水産加工業との連携により付加価値を高めるブランド化を進めることで経営の安定化を図ります。

また、観光との連携を図り地域経済の強化を進めます。

島内での水産物等の購入のしくみづくりにより町民の地元消費を促進し地産地消を推進します。さらに、産業としての基盤を支えるべく、後継者育成も進めていきます。

##### 2) 農林業

農業については、農地の基盤整備や流動化により農地の有効活用を図り、水稻と肉牛の複合経営や後継者育成を推進します。また、アスパラやブドウなど新たな農産物の生産性を高めるとともに、奥尻ワイン等の安定供給による「おくしりブランド」の構築強化を進めます。

林業については、島内産の木材利用を推進し、また、治水・治山・環境保全などの森林の持つ公益的機能の強化を図ります。

### 3) 商業・鉱業・工業

商業では、多角化経営や新たな経営者等の育成を進めるとともに、商工会や異業種との連携強化などの継続性のある仕組みづくりを進め、経営の安定化を図ります。

工業についても異業種交流などを推進し、島ならではの小規模経営の仕組みづくりを進め人材を増やすよう進めます。また、島の未開発資源などの発掘から商品化などを目指した支援を行います。

### 4) 新たな産業と雇用

水産業や観光、農林業、商工業に加え、新エネルギーや自然エネルギーを活用した環境産業などの新たな産業の振興を図り、島の地域産業を強化します。

また、町民がいきがいを持って島内で働くことができるように、さまざまな産業において関係機関と連携を強化することにより、高齢者や女性が働くことができる就業機会や冬季の雇用の場の確保、拡充を図ります。

## 2

## 交流のまちづくり（交流・観光）

### 1) 観光

奥尻町の山や海の自然、景観、新鮮な魚介類、歴史・文化・風土、さらには人情味あふれる町民も含めた、様々な資源を活用した体験型観光の展開を強化します。また、環境に配慮したエコツーリズムやフットパスなどの観光振興を推進し、それらに対応した人材育成を進めます。

また、町民や観光関連以外の業種なども含めた異業種間の連携による島ぐるみの観光振興の体制づくりを進め、島全体での観光客の受け入れ環境を整え、奥尻町のファンやサポーターなどのリピーターの確保を行います。

はこだて観光圏との連携も含め、島外との交通アクセスの充実などを関係機関に要請し離島のハンディキャップを逆手にとって、島の魅力や特徴を最大限に活かした挙島体制での観光立島を目指します。

### 2) 島外との地域間交流

北海道新幹線の函館開通や道南地域が一体となった広域的なはこだて観光圏と連携した滞在型観光ルートの構築や北海道の離島（利尻島・礼文島・天売島・焼尻島）との連携による離島ブランドの確立など島外との地域間交流を積極的に進めます。

また、奥尻町への集客を高めるため、道南地域を中心に、道内や道外に対する奥尻町の自然や体験メニュー、おくしりブランドなどの情報発信を行います。

### 3) 産業交流

水産業や農業、観光、環境などの異業種の産業交流を進め、奥尻町のイメージアップを図るとともに、特産品や新たなビジネスなどの共同開発を進めます。それにより、定住人口及び交流人口の増加を図ります。

また、未開発資源を活用した産業交流の推進などの仕組みや人材の育成を進めます。

### 4) 国際交流

国際交流は、町民の異文化に対する理解を深め、奥尻町の中だけでは得られない新たな価値観を備えることができます。また、その経験と照らし合わせながら、奥尻町の地域特性の再確認を行うことにもつながり、町に対する愛着や誇りがさらに育つ環境になります。国際交流が深化していけば、観光をはじめとする地域産業や経済の発展も期待できます。

そこで、奥尻町の国際交流を進めるため、グローバル化や高度情報社会を踏まえ、ICTなどを活用して島ゆえの孤立を克服し、世界に向けた発信を行います。

また、観光や教育において、英語をはじめ、近年集客が進んでいるアジア客などに対応した中国語などの外国語教育などを進め、町民の国際感覚を高め、外国の人々との相互理解を図るためまちぐるみで国際交流活動に取り組んでいきます。

## 3

### 美しい循環型のまちづくり（景観・環境・エネルギー）

#### 1) 土地利用

島全体の土地利用計画を策定し、土地の流動化や遊休地などの有効活用により、企業誘致や農地の生産性向上、さらには安心して利便性の高い町民の暮らしを目指します。その際は、相談窓口などを設け、土地利用促進の間口を広げる方策も進めていきます。

#### 2) 景観・自然環境保全

奥尻町の魅力であり観光資源となっている豊かな海や山の自然環境の保全を進め、美しい自然景観の形成を促進します。そのための町民意識の向上・啓発を進めます。

### 3) 環境・エネルギー

低炭素社会の実現を目指して、「奥尻町地域新エネルギービジョン」に基づき、現在の島内でのエネルギーの循環を継続させます。また、島外に搬出している産業廃棄物も含め島内で処理することで、新エネルギーとして再利用する「ゼロエミッション」の島づくりを進め、先駆的な環境立島を目指します。

また、これにより安心安全のイメージが付加され、交流人口の増加やおくしりブランドの構築を図ります。

## 4

### あんしんで生きがいのあるまちづくり（医療・福祉・保健）

#### 1) 医療・病院

離島であるがゆえのハンディキャップを克服するため完結型医療体制を構築し、子どもから高齢者まで、安心して暮らすことができる医療環境づくりを進めます。そのため、島外の関係機関や医療機関との ICT を活用した医療連携の構築、強化を図ります。

また、人口減少や高齢化を踏まえ、将来的な人口動態も視野に入れた複合型施設などの高齢者福祉や終末医療も見据えた環境づくりを進めます。

さらには、それらの医療体制を構築するための人材の確保や育成を積極的に進め、医療の現場における環境づくりも充実させていきます。

#### 2) 高齢者福祉・障がい者福祉

高齢者が島の暮らしで生きがいを持って暮らすことができるように、町民が気軽に集い活動できる拠点や環境づくりを進めるとともに、元気な高齢者が活躍できる雇用の機会を創出します。

また、高齢者や障がい者を地域住民が見守る地域福祉の体制やネットワークを強化します。さらに介護福祉士やケアマネージャー、在宅ヘルパー、理学療法士などの福祉に携わる人材の確保を進めるとともに、公共施設等のバリアフリー化や既存の施設を活用しながら独居老人などが集まって暮らすことができる環境を整備します。

#### 3) 保健・健康づくり

保健・医療・福祉が連携して、町民の日常的な健康管理や病気とうまく付き合う健康づくりを推進します。そのために、自分の健康は自分で守るという意識啓発や健康診断の受診率の向上などを進めます。



#### 4) 防災

町の防災計画の見直しを進め、町民の災害に対する防災意識の啓蒙を進めます。また、緊急時の交通確保や緊急告知装置への対応を進めます。

また、治山・治水・海岸保全の整備を進めます。

#### 5) 消防・救急

災害時及び緊急患者の搬送時には、緊急への要請を関係機関と連携を図り、迅速に対応します。また、救急体制だけでなく日頃の消防体制の充実に向けた施設の維持や、水難被害に備えた救援体制づくりの充実も推進します。

#### 6) 交通安全

島内の自動車整備を充実させるとともに、今後の整備体制を維持・向上させていくため、若い技術者の確保と育成も推進していきます。また、街頭指導やチャイルドシートの貸出などにより町民への交通安全の意識啓発を図ります。

### 5

## 快適に暮らせるまちづくり（基盤整備・交通・情報）

#### 1) 居住環境

公共住宅などの老朽化に伴い、既存の建物を活用しながら長寿命化を基本として、修繕や維持を進めます。

#### 2) 公園

町内の公園の維持管理を進めるとともに、町民による管理体制の仕組みづくりを進めます。また、防潮堤など、自然環境を活かした公園機能を持つ施設の有効活用も推進していきます。

#### 3) 道路・交通機関

町内の道道及び町道の主要幹線道路の整備や改善を進めます。

海上航路のフェリー一航路については、安全で欠航の少ない航路の確立を目指すとともに、島内のバスとの連携により利便性の向上を図ります。

空路については、就航率を高める機器の導入により悪天候による欠航の解消を図るとともに、奥尻－函館間の複数便の運航を関係機関に要請します。また、町民の多様なニーズに対応するため、奥尻－札幌（新千歳・丘珠）間の直行便の運航についても要請します。また、空港を町民の交流の場として活用するなど、町民が気軽に楽しめる空港づくりを検討します。

#### 4) 上下水道

統合計画に基づき老朽化施設の改築を進めます。また、東風泊地区と谷地地区については簡易水道への移行を行い、水質保全・安定供給に努めます。

下水道については、老朽化している施設の長寿命化計画の策定・推進を行います。

#### 5) 高度情報化

今後も情報通信基盤整備を進めるとともに、ICT を活用した教育や福祉、行政サービスの充実を促進します。また、町民のインターネット利用を促進し、離島の情報格差を解消するとともに、町民による情報発信を進めます。

## 6

### あたたかい人を育てるまちづくり（子育て・教育・人づくり）

#### 1) 子育て

少子高齢社会に対応して、「新おくしり子どもプラン」に基づきながら、女性が出産し子育てしやすい環境づくりを進めます。若い世代の意見を把握しながら、子育て支援サービスの充実を図ります。

#### 2) 教育

島である特性を活かして、島でなければできない離島教育を積極的に進め、0歳児から幼少期、青年期のトータルでの離島教育の環境づくりを図ります。

就学前の教育に関しては、幼稚園と保育所が一体となった認定子ども園（仮称）に向けた仕組みづくりと人材育成を進めるとともに、幼少期からの離島教育を進めます。

また、小中学校では児童の減少の状況を鑑みながら、統合や集約を検討します。さらに中高一貫教育も視野に入れた取り組みを進めます。

#### 3) 歴史文化の伝承

奥尻町に残る青苗遺跡や奥尻祈漁太鼓などの伝統芸能の保護、伝承を進め、学校教育などで歴史・文化・風土に触れることができる機会を提供します。希少な芸術作品などの有効活用を進め町民の認識や知識の向上を図ります。

また、震災の経験を活かして次代を担う子どもに伝承していきます。奥尻町の自然を活かした観光などにおいても、町民による専門的なガイドなど人材育成を進めます。

### 1) 地域コミュニティ

かつての良好な地域コミュニティを醸成するため、子どもから高齢者など多世代が交流する場の創出や、地域のコミュニティ活動の推進に努めます。

さらに、地域内や町民同士のつながりを強化し、地域福祉や地域への関心を高め、ふるさと意識の醸成を図ります。

### 2) 町民参加のまちづくり

奥尻町のまちづくりにおいて、行政だけではなく町民の参加機会を増やし、町民参加型の仕組みづくりを進めます。

広報紙やインターネット、防災行政無線放送などによって、情報提供するほか、多様な世代の町民の意見を把握する機会の創出を進めます。

また、町民のまちづくりへの意識や責任の向上とあわせて、町民による地域活動への支援を行います。

### 3) 行政・財政

行政改革プランに基づき、効率的な職員配置、組織体制の見直しを進めるとともに ICT を活用して、効率的かつ質の高い行政サービスの提供に努めるとともに、税等の収納率を向上させ、財政の健全化を推進します。

また、広域行政においては関係機関や周辺市町との連携や協力を深めるほか、民間活力の活用を進めます。

### 3. まちづくりの将来指標

---

奥尻町の人口は昭和 35 年をピークに減少を続けています。人口が減少すると冠婚葬祭をはじめ町の社会的共同生活の維持が難しくなるほか、地域経済や町財政にも大きく影響します。そのため、人口減少に歯止めをかけることが必要となります。

また、大きな人口増加が期待できない社会情勢においては、地域経済にとって島の外からの人口が活性化の重要な要素となることが考えられます。

島外からの交流人口は、観光面だけでなく、リピーターやファンが増え、半定住から移住・定住へと定住人口にもつながります。また、離島という立地条件では町民の足として欠かせない海路や空路の交通アクセスの確保を支える重要な要素でもあります。

そのため、「人の絆と営みが織りなす幸せなおくしリズム」のテーマのなかで、ヒト・モノ・カネが有機的に循環するリズムを生み、人の絆と営みを育むことができることを目指して、第 5 期奥尻町発展計画の将来指標を「定住人口」と「交流人口」の 2 つとします。

#### 将来指標

人口減少を最小限に抑えるとともに、交流人口の増加を目指し、定住人口につなげます

定住人口

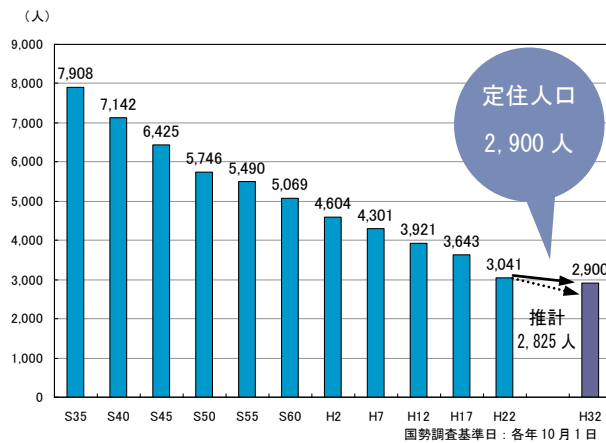
交流人口

●定住人口

平成 32 年・・・2,900 人

奥尻町の人口は減少傾向にあり、平成 22 年国勢調査（速報値）によると 3,041 人となっています。国立社会保障・人口問題研究所の推計値（平成 20 年 12 月）では、平成 32 年には 2,825 人に減少することが予想されています。

しかし、今後、離島医療や地域福祉、子育て支援、さらには新たな地域産業の振興、それによる雇用の創出を推進することにより人口減少を最大限抑制し、定住人口 2,900 人を目指します。



【目標定住人口に向けた施策（戦略）】

- 移住・定住促進の取り組み
- 子育て支援
- 新たな産業や雇用創出
- 離島医療・離島福祉の充実
- 地域コミュニティの強化

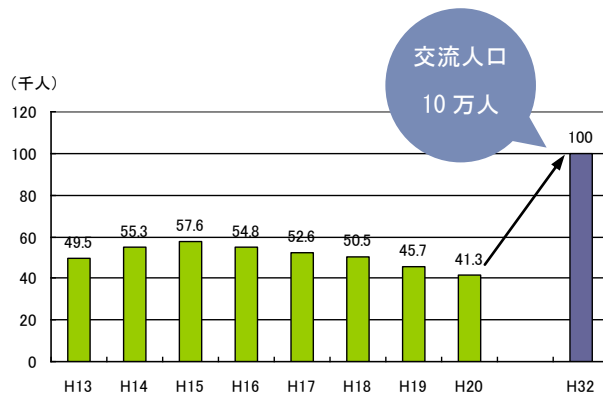
●交流人口

平成 32 年・・・10 万人

人口増加が大きく見込まれない社会状況下において、定住人口と合わせて、奥尻町への交流人口増加が地域活性化の手がかりになります。

北海道観光入込客数調査（平成 20 年度）によると奥尻町の年間観光客は 4 万 1000 人となっており、減少傾向となっています。

今後は、「観光客倍増プロジェクト」に引き続き、おくしりブランドの強化や水産業と観光、環境の産業交流、はこだて観光圏との連携などを推進することで、定住につながる人の流れを創りだし、交流人口 10 万人程度を目指します。



【目標交流人口に向けた施策（戦略）】

- 自然環境の保全活用
- 町民自らの観光振興の取り組み
- 水産業や農林業と連携した観光産業の創出
- おくしりブランドの強化・PR
- ICT を活用した情報発信

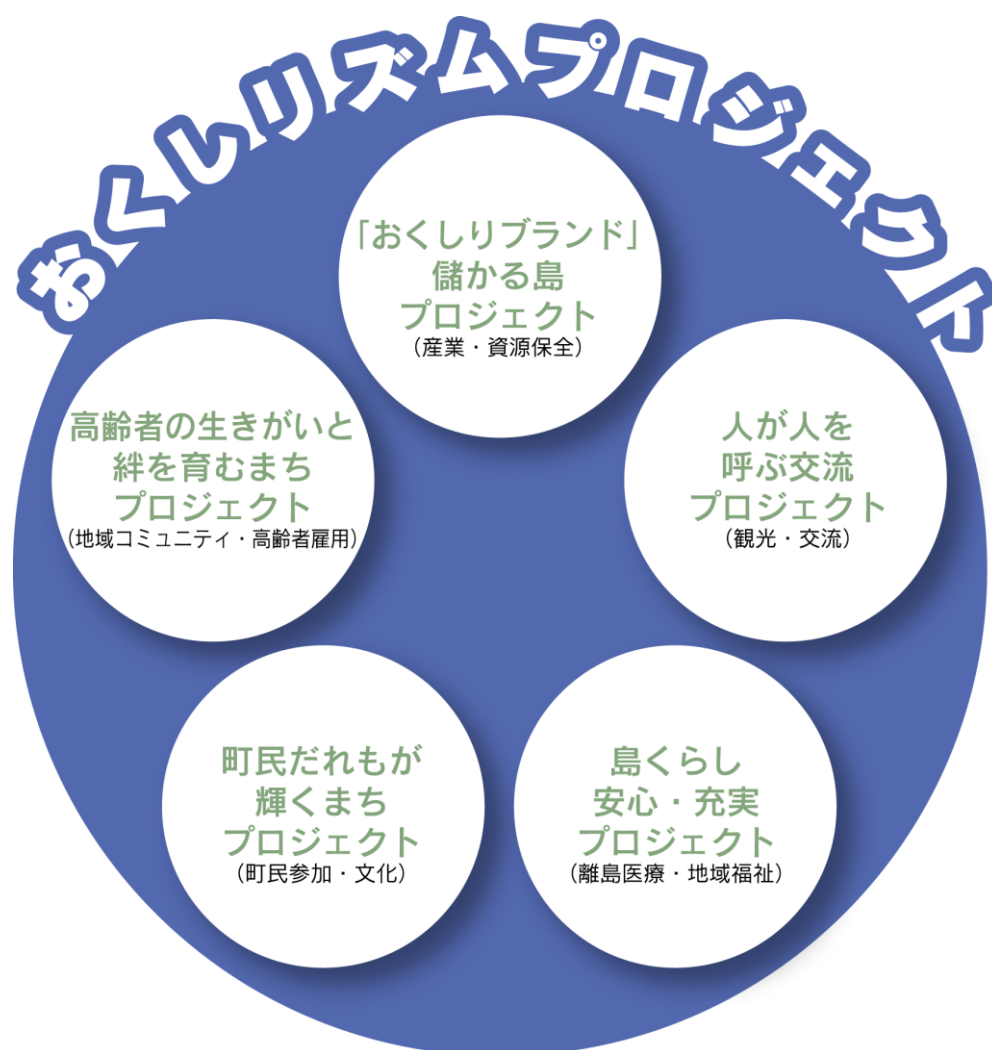
## 4. 戦略プロジェクト

ここに示す戦略プロジェクトは、まちづくりのテーマである「人の絆と営みが織りなす幸せなおくしリズム」の実現に向けて、基本方針の分野ごとの施策を推進しながらも、より戦略的に取り組んでいくもので、分野ごとの施策を横断的にまたがる事業や先導的に取り組む重要なプロジェクトです。

これから奥尻町が創りだし歩いていく「おくしリズム」に添いながら、みんなが幸せを感じる豊かな暮らしを実現するため、以下の5つの戦略プロジェクトを『おくしリズムプロジェクト』として掲げます。

これらのプロジェクトの推進は、行政はもちろん、町民も含めて島一丸となって取り組んでいくことが必要で、プロジェクトチームを立ち上げて積極的、戦略的に進めます。

また、今後の社会情勢の変化などに伴っては、状況に応じて新たなプロジェクトを掲げていくこととします。



## ■おくしリズムプロジェクト

### 「おくしりブランド」儲かる島プロジェクト（産業・資源保全）

奥尻町には、優れた海洋資源のほか、それを支える豊かな森林資源があり、それらが新鮮で豊富な水産物や農畜産物を生み出しています。これらの資源をいつまでも保全するとともに有効に活用し、水産業と加工業、農畜産業と観光などの連携を有機的に図ることにより、「おくしりブランド」化の強化、高付加価値化を進めます。

これらの取り組みを通して、奥尻町産の商品の価値が高まり、島全体が儲かるまちづくりを進めます。それにより雇用の創出や地域経済の活性化、豊かな暮らしの実現につながります。

### 人が人を呼ぶ交流プロジェクト（観光・交流）

奥尻町の観光資源は、自然や水産物ばかりではなく、そこに暮らす人、町民そのものが魅力であり資源です。人が魅力となってさらに人を呼び込む交流の仕組みづくりを進め、交流人口の拡大を目指します。

また、様々な場面での人材を育成するとともに、観光客とのふれあいの中にも、リピーター獲得のヒントを探しデータベース化して、戦略的な観光振興につなげます。

### 島くらし安心・充実プロジェクト（離島医療・地域福祉）

島での安心で豊かな暮らしが、町民みんなの幸せのベースとなります。

離島という環境に適応した島内完結型の離島医療を推進し、暮らしやすいまちづくりを進めます。また、町民の相互扶助の精神を醸成し身近な地域福祉を推進します。

### 町民だれもが輝くまちプロジェクト（町民参加・文化）

奥尻町で暮らす町民一人ひとりには、それぞれ個性があり、そして様々な特技や才能があります。それらの才能や技術、知識、経験を活かして、町民がまちづくりに積極的に参加し、奥尻町の元気と幸せを盛りたてていくまちづくりを進めます。

子どもからお年寄りまでみんなが輝き、活躍するまちを目指します。

### 高齢者の生きがいと絆を育むまちプロジェクト（地域コミュニティ・高齢者雇用）

町民が二人集まれば会話が生まれ、一人よりもできることも広がります。人がさらに集まればできることも多くなります。高齢者などが集まることができ場をつくることで、コミュニケーションの場となり生活にハリができます。そして会話から地域活動の実践やコミュニティビジネスの展開につながります。

また、高齢者の熟練した技術を使った雇用により生きがい創出されます。このように交流や雇用により、高齢者の生きがいや絆を深めます。

## 5. 計画の体系

### まちのテーマ

人の絆と営みが織りなす幸せなおくしリズム  
～島じかんが紡ぐみんなの笑顔～



### まちづくりの基本理念

#### 島ぐるみのまちづくり



### まちづくりの基本方針

1	活力あるまちづくり（産業振興・雇用）
2	交流のまちづくり（交流・観光）
3	美しい循環型のまちづくり（景観・環境・エネルギー）
4	あんしんで生きがいのあるまちづくり（医療・福祉・保健）
5	快適に暮らせるまちづくり（基盤整備・交通・情報）
6	あたたかい人をつくるまちづくり（子育て・教育・人づくり）
7	みんなでつくるまちづくり（行財政・町民参加・地域コミュニティ）

### 戦略プロジェクト

「おくしりブランド」儲かる島プロジェクト

人が人を呼ぶ交流プロジェクト

島くらし安心・充実プロジェクト

町民だれも輝くまちプロジェクト

高齢者の生きがいと絆を育むまちプロジェクト



Ⅲ

基本計画

## （1）水産業・水産加工業

### 1. つくり育てる漁業を進める

#### ①資源管理型漁業の推進

- ・あわび種苗育成センターを中心に近海水産資源の増殖のための種苗生産の推進
- ・養殖漁業用静穏海域としての活用など漁港施設の複合的利用
- ・漁港の階層的利用による養殖漁業・漁場の開拓と推進

#### ②近海資源の増大対策の推進

- ・ヒラメ・サクラマス・ニシンなどの稚魚やアワビ・ナマコ種苗の放流事業の継続
- ・各種の魚礁や産卵礁などの設置
- ・アワビ・ウニ・ナマコの増養殖施設やコンブ養殖施設などの設置
- ・磯根資源の回復や増殖のため磯焼け現象回復を図る取組みの推進

### 2. 販売流通対策を積極的に推進する

#### ①販売流通対策の推進

- ・消費市場と直結した新しい流通経路の開発
- ・イベントや“市”の常設など、町民・観光客への地場魚貝類の直接販売
- ・水産物の生産・加工・販売を一貫的に管理する仕組みと行政支援体制の構築
- ・「おくしりブランド」づくりの強化と積極的な発信
- ・HACCP※の概念に基づいた衛生管理システムの導入

#### ②水産物の島内消費率の向上

- ・島内流通方法の確立
- ・“市”の常設や直販・購入システムなどの地元還元消費の仕組みづくり
- ・水産物に関する島内取り扱い情報の発信

### 3. 担い手の育成を推進する

#### ①漁業後継者の育成の推進

- ・I・J・Uターンを活用した担い手の育成・確保
- ・後継者育成を進める体制づくり
- ・後継者育成のための漁業研修などの支援

#### ②水産加工業の振興と担い手の育成

- ・奥尻地域マリナビジョンと連動した取組みの推進
  - 良質な水産加工原料を活かした水産加工業の振興
  - 新鮮な水産加工資源を背景とした地元企業による協業や島外企業の誘致による水産加工業の再興
- ・加工に関する伝統技術の伝承

※HACCP（ハセツプ）：Hazard Analysis Critical Control Point（危害分析・重要管理点）の略。

食品の生産・加工・流通の各段階で発生しうる危害を分析し、防ぐための管理基準を設けることにより、製品の安全性を高める衛生管理の手法。

#### 4. 就労環境の改善を推進する

##### ① 漁業者の高齢化に伴う就労環境の改善

- ・ 漁業者の高齢化に対応した漁場・漁港づくり
- ・ 水産加工場の設置と規模拡大

##### ② 港湾及び各漁港の整備と維持管理

- ・ マリントウンプロジェクトによる港湾の整備促進
- ・ 青苗漁港の整備促進（奥尻地域マリナビジョン）
- ・ 各漁港（稲穂、勘太浜分区、宮津、赤石、松江、神威脇）の修繕と維持管理

#### 5. 漁業・商業関係各種団体の連携を強める

##### ① 町と関係機関・団体との連携の推進

- ・ 戦略プロジェクトと関連づけた官民連携型の推進チームの組織
- ・ 観光業者及び商業者と漁業者・水産加工業者の定期的懇談の実施
- ・ 水産関係のプロジェクト検討グループの立ち上げ
- ・ 異業種交流による水産加工業や体験型観光との連携の仕組みづくり
- ・ 農水併合による生産・供給組織の構築

##### 【 町民・地域の取り組み 】

- 水産加工や体験型観光などに取り組みます。
- 海洋資源の保全活動を進めます。

## （2）農林業

### 1. 農業・畜産の生産性を高める

#### ① 基盤整備の促進

- ・ ブランドづくりを目指した農地流動化の推進
- ・ 耕作放棄地の解消・発生防止活動の強化
- ・ 農業用施設の改良・維持管理
- ・ 新エネルギーの導入・活用

#### ② 経営面の支援

- ・ 農業改良普及センター、JA、町の協力体制による指導
- ・ 営農計画づくりの推進
- ・ 生産組織の育成強化

#### ③ 多様な担い手の育成の促進

- ・ I・J・Uターンを活用した後継者の育成・確保
- ・ 後継者育成のための農業研修等の支援促進や体制づくり
- ・ 高齢者の経験と技術を活かした生産活動の推進
- ・ 認定農業者の育成・確保
- ・ 経営改善や地域活動の活性化に向けた女性や高齢者グループ活動の推進

#### ④ 新規作物の導入と研究

- ・ 「おくしりブランド」づくりの強化と積極的な発信
- ・ 健康に配慮した農畜産品の栽培・生産

### ⑤農畜作物の島内消費率の向上

- ・島内流通方法の確立
- ・“市”の常設などの農畜産物の直販システムの強化・拡大
- ・観光部門との提携による奥尻町産の農畜産物の積極的 PR

### ⑥販売流通対策の推進

- ・包括的な生産・流通販売体制の構築
- ・島外流通経路の開発

## 2. 林産業の育成

### ①林産業の維持

- ・森林所有者の森林施業意識の啓発
- ・島内での奥尻町産の森林資源の活用
- ・木質チップの新エネルギー導入による林産業の振興

### ②林産業の基盤整備

- ・環境に配慮した林道の維持管理
- ・路網整備と機械化による木材生産性の向上

### ③森林機能の保全

- ・森林の持つ公益的機能の意識啓発
- ・計画的間伐・主伐材の出材による生産・流通の確保
- ・離島ブナ林の北限である「奥尻保護林」の保護・育成
- ・水資源確保のための水源かん養林育成
- ・土砂流出などを極力抑制するための施業の強化
- ・自然環境保全地域の設定など民有林における保全対策
- ・伐採後の確実な更新の確保

#### 【 町民・地域の取り組み 】

- 自然環境保全の意識を高め、保護活動などに参加します。
- 後継者育成に努めます。

## (3) 商業・鉱業・工業

### 1. 地域の商業を育てる

#### ①商店街及び商店の活性化

- ・商店街としての魅力を高めるための商業機能の転換・充実
- ・利子補給制度などの補助制度の有効活用
- ・共同事業や地域通貨導入の推進
- ・同異業種との交流の活性化
- ・クレジットカードシステムの導入による購買力促進
- ・高齢化に対応した移動販売や宅配サービスの推進

#### ②商工会組織の機能強化の推進

- ・商店の経営診断や各種相談体制の強化
- ・商工会青年部・女性部などの組織活動の活性化

### ③新しい商品の開発

- ・奥尻町らしさや伝統技術を活かした新製品の積極的開発促進
- ・商品などの販路拡大促進

### ④地場産品愛用運動の推進

- ・町民に対する魚の小売システムの推進・発展
- ・肉・米・魚介類などの地場消費拡大のための支援策の推進

### ⑤後継者の育成支援

- ・後継者の育成及び発掘を推進する体制づくり
- ・後継者の育成の支援方策の仕組みづくり
- ・新規創業や起業、多角化経営に対する支援の推進

## 2. 地域を大切にしている消費者を育てる

### ①離島価格の是正

- ・灯油・プロパンガスなどの価格の安定化と島外との価格格差解消
- ・合理的な地場生産地場消費システムの推進

### ②消費者団体の育成

- ・消費者との直接対話の促進
- ・消費者保護の推進
- ・買い物弱者対策の推進

## 3. 経営の体質改善と経営の安定化を図る

### ①足腰の強い工業の創造

- ・小規模経営に対する経営指導の強化
- ・地元同業種交流による技術向上、製品開発などの促進

### ②多様な人材の育成

- ・多角化経営に対する指導

## 4. 環境に配慮した鉱業開発を進める

### ①新しい鉱業資源の開発

- ・新しい鉱業資源の開発の検討
- ・未開発工業資源を活用した製品の試験開発の推進

### ②鉱業設備改善の促進

- ・運搬用道路の維持管理
- ・パーライトなどの多目的活用

### 【 町民・地域の取り組み 】

- 若い世代など町民自らが新たなビジネスチャンスにチャレンジする意識を高めます。

## (4) 新たな産業・雇用

### 1. 雇用対策を進める

#### ①雇用の場の創出

- ・雇用対策を促進するための組織づくり
- ・水産業、観光、農畜林業、商業、鉱工業の連携等による産業振興に基づく雇用の促進
- ・水産業や農畜産業をベースとした加工場の整備・拡大
- ・生きがいにもつながら高齢者の就労機会の創出
- ・安定した公共事業の推進

#### ②産業創出や起業・創業の支援

- ・奥尻町地域新エネルギービジョンに基づいた取り組みと連動した雇用の創出・拡大
- ・起業者の育成と支援

### 2. 勤労者の福祉対策を進める

#### ①季節労働者の援護

- ・季節労働者援護事業の活用

### 3. 新たな産業の創出

- ・新エネルギー関連の産業の創出
- ・インフラ整備の少ない産業の誘致・創出

#### 【 町民・地域の取り組み 】

- 町民自らがビジネスチャンスを探求する視点を持ち、新しい産業への試みを進めます。

## （1）観光

### 1. 観光地としての魅力づくりを進める

#### ①観光資源の多様な有効活用

- ・未利用資源の発掘と観光資源化の推進
- ・海の魅力を活かした体験プログラムの強化

#### ②魅力さがしの推進

- ・島内周遊ルートが多様化
- ・奥尻町らしさを活かしたイベントの積極的展開
- ・観光に関するボランティア活動やコミュニティビジネスの推進
- ・町民向けの奥尻町魅力さがし活動を展開

#### ③観光地としての魅力を高める

- ・地場の素材を活かした新しい味覚（島食材）・土産品の提供
- ・奥尻地域マリナビジョンの推進（青苗漁港を拠点とした観光）
- ・漁業者の協力による漁業体験型観光の充実
- ・若者・女性のニーズに対応したレクリエーション活動の導入
- ・おくしりブランドと連携した観光メニューづくり
- ・自然資源を活用した体験プログラムづくり

#### ④既存施設の活用

- ・既存観光資源の活用及び既存施設の連携ネットワークの強化
- ・「復興の森」の積極的活用
- ・ブナ林の魅力づくり
- ・奥尻島津波館の情報発信機能の強化と利用促進

### 2. 観光客の受け入れ体制を整える

#### ①受け入れ体制の強化を図る

- ・接客サービス教育の充実
- ・観光案内機能の強化
- ・観光協会の体制強化
- ・団体客・修学旅行者受け入れ体制（宿泊施設・交通機関など）の整備
- ・宿泊施設経営者の高齢化に対応した維持管理
- ・民泊体験プログラムの推進と窓口の整備
- ・震災復興に関する教育学習フィールドづくりの推進
- ・各種産業と連携して取り組む体験プログラムのノウハウの蓄積

#### ②観光資源・施設の整備

- ・民間宿泊施設の改善及び新規整備促進
- ・未利用観光資源活用のための周辺整備
- ・海水浴場・観光牧場などの整備促進
- ・体験プログラムの創出や実践の場づくり

### 3. 観光に関わる人材育成と組織化を進める

#### ①日常的な観光意識の醸成

- ・町民のホスピタリティー（もてなしの心）の向上
- ・町民の観光への意識向上と参加促進
- ・島外アドバイザー招聘を通じた観光の意識改革

#### ②観光に関わる人材の育成

- ・観光に携わる人材育成を推進する体制づくり
- ・多様な人材の確保と観光ガイドの育成

#### ③新たな観光組織づくり

- ・観光の意向情報を収集する組織づくりの推進
- ・異業種とのネットワークづくり

### 4. 戦略的な観光振興の推進

#### ①各種連携体制の強化

- ・はこだて観光圏との連携強化
- ・北海道の離島同士との連携による離島ブランドの確立
- ・首都圏も含めた各地の「しまびと」との連携

#### ②しま観光の売り込み

- ・リピーター獲得に向けた売り込みターゲットを絞った観光戦略の促進
- ・北海道新幹線延伸に関連した観光ルートへの組み込み

#### ③観光に結びつく情報収集と発信

- ・観光意向のリサーチとデータベース化の促進
- ・メディアを活用した奥尻町観光の積極的なPRの推進

### 5. 関連基盤施設の整備を進める

#### ①奥尻空港の活用

- ・道内他空港との連携強化とチャーター便の要請
- ・奥尻空港でのイベント活用等の検討

#### ②島内周遊道路の維持管理

- ・島内周遊道路の修繕・維持管理の推進

#### ③港湾の維持管理

- ・奥尻港の修繕・維持管理

#### 【 町民・地域の取り組み 】

- 町民一人ひとりが奥尻島のセールスマンとしての意識を高め、積極的にPRします。
- 観光従事者に限らず、全ての町民が観光客を迎えるおもてなしの意識を高めます。
- 町民も交わる体験型メニューに積極的に参加します。

## (2) 島外との地域間交流



## 1. 檜山管内各町や現在交流している市町村以外の自治体との交流・連携を進める

### ①積極的な交流事業の推進

- ・ 檜山・道南管内各町や現在交流している市町村以外の自治体との交流深化
- ・ 震災後支援者などに対する復興のアピールとつながりづくり
- ・ ICT の利活用と促進による地域間交流の充実

## (3) 産業交流

### 1. 産業交流を進める

#### ①産業交流の推進を図る

- ・ 産業交流を促進する体制づくり
- ・ 人材交流による産業基盤の底上げを推進
- ・ 輸送コストの安定を図る
- ・ ブランド化の発展を目指した交流の推進
- ・ 循環型産業に向けた代替エネルギーの推進

#### 【 町民・地域の取り組み 】

- 未利用資源の発掘や活用など、新しい産業のビジネスチャンスを追求します。

## (4) 国際交流

### 1. 国際交流を進める

#### ①国際交流に向けた受け入れ体制の整備

- ・ 人材交流を推進する体制づくり
- ・ 震災復興研修などの受け入れ体制の構築
- ・ 外国人観光客の受け入れ体制の構築
- ・ 町民の外国語教育（二ヶ国語）の推進
- ・ 外国人観光客に対応した町民講座の実施や外国語サインなどの充実

#### 【 町民・地域の取り組み 】

- 国際交流に対応した外国語の習得に取り組みます。
- 外国人観光客へのホスピタリティの意識と対応を高めます。

## （１）土地利用

### 1. 新しい土地利用計画の策定を進める

#### ①一般的な土地利用区分の見直し

- ・町民参加による土地利用計画の策定・見直し
- ・震災後の土地利用区分の変更の見直し

#### ②土地の有効利用

- ・土地利用促進に向けた相談窓口の一元化などの基盤づくり
- ・遊林地の有効利用の促進
- ・企業誘致の促進

## （２）景観・自然環境保全

### 1. 奥尻町らしい景観の保全を図る

#### ①景観の保全

- ・海岸や森林などの保全
- ・自然保護の推進

#### ②景観の創造

- ・景観条例策定の検討

#### ③自然と調和する開発の推進

- ・町民の環境美化運動への啓発
- ・自然体験学習の場づくり
- ・自然風景と一体化した景観形成の促進
- ・自然環境保護も含めた植樹活動の推進

#### 【 町民・地域の取り組み 】

- 海岸や森林の保護活動に取り組みます。
- 植樹など身近な自然や景観づくりの取り組みを進めます。

## （３）環境・エネルギー

### 1. ガス、灯油などの日常的なエネルギーの安定供給を進める

#### ①社会生活全般に必要な電力の供給体制の確立

- ・発電所の適切な維持管理

#### ②灯油備蓄施設の有効利用による安定供給体制の確立

- ・備蓄タンクの適切な維持管理

#### ③プロパンガスの適切な充填・供給体制の確立

- ・町民に対する補助の継続

#### ④温泉の有効利用の促進

- ・神威脇温泉保養所の修繕と維持管理
- ・施設園芸への公共熱源としての利用検討
- ・公共施設の暖房・給湯源としての利用の検討

## 2. 中長期的な新規電源開発を図る

### ①安定した電源開発の推進

- ・開発年度は資金事情、電力需要の伸びを考慮
- ・老朽化した機器の更新

## 3. 新エネルギーの導入を進める

### ①「奥尻町地域新エネルギービジョン」の活用

- ・風力発電は時代の推移をみながら事業の推進を検討
- ・ソーラーパネルの積極的導入
- ・観光関係車両のクリーンエネルギー化を推進するための基盤整備
- ・漁業系廃棄物を利用したバイオマスエネルギーの導入

## 4. ゴミ処理を計画的に進める

### ①ゴミ分別収集の推進

- ・積極的な分別収集のPR
- ・ゴミの有効活用

### ②ゴミ処理施設の整備

- ・老朽化した現有施設の更新・建替及び解体
- ・リサイクルセンター計画の推進
- ・焼却施設の定期点検における補助需給の推進
- ・エネルギー精製施設・機能の付加

### ③ダイオキシン類対策の推進

- ・施設更新の際の除去設備の整備

### ④リサイクルに関する意識の向上の促進

- ・町民の環境保全意識の啓発

### ⑤リサイクルに関する支援施策の推進

- ・リサイクルに関する条例の整備
- ・資源回収業者 による資源回収の推進
- ・一般廃棄物処理基本計画に基づいた処理方策の推進

### ⑥粗大ゴミ処理場の整備

- ・粗大ゴミの中間処理の推進

### ⑦漁業系廃棄物の適正処理の維持

- ・適切な処理方策の維持
- ・生ゴミ堆肥化システムや処理機の導入を検討

### ⑧環境に配慮したゴミ処理計画の推進

- ・奥尻島ゼロエミッション化の推進
- ・環境学習機会への活用

### 【 町民・地域の取り組み 】

- 環境に関する意識を高め、ゴミ分別などの取り組みを積極的に実践します。
- 限りあるエネルギー資源の有効利用を推進します。
- 環境学習の機会へ参加します。

## （１）医療・病院

### 1. 島内完結型の医療体制を整える

#### ①施設基盤の整備

- ・老朽化した病院の刷新を含めた複合機能型の総合医療施設の整備

#### ②完結型医療体制の推進

- ・国民健康保険病院事業の円滑な運営
- ・外科的総合医を中心とした島内完結型医療の推進
- ・終末医療体制の整備を検討
- ・広域医療圏での医療機関との連携の強化
- ・緊急医療体制の充実
- ・リハビリテーション体制の充実
- ・医療機器の施設整備の充実
- ・「新たな情報通信技術戦略」に基づいた地域連携医療の導入検討
- ・滞在型人間ドックの推進

#### ③質の高い人材の育成

- ・医療技術者の安定確保を推進する体制の整備
- ・医師、看護師および医療技術者などの確保と資質向上
- ・離島医療を促進するための研修医の受け入れ強化
- ・対外的な離島医療発信による新たな人材の掘り起こし

#### ④地域に根付いた医療サービスの展開

- ・医師と町民のコミュニケーション機会の充実
- ・町内会への出張健康診断の充実

#### ⑤就労環境の整備

- ・医療現場における働きやすい環境づくり

#### 【 町民・地域の取り組み 】

- 島内の医療機関を利用します。
- 出張健康診断などの機会に積極的に参加します。

## (2) 高齢者福祉・障がい者福祉

### 1. 高齢化時代のコミュニティづくりを進める

#### ①医療・保健・福祉・教育行政の連携の推進と町民の積極的な参加

- ・地域ケア会議（仮）の確立と充実
- ・医療・保健・福祉・教育に関わる施設や機能の集約化と活用システムの確立

#### ②高齢者の生きがいづくり

- ・生きがいづくりにつながるコミュニティ活動の拠点づくり
- ・高齢者が交流できる場の確保
- ・コミュニティビジネスの推進・展開
- ・高齢者活動に対する行政支援の充実
- ・高齢者雇用を推進する体制づくり
- ・高齢者の雇用機会の創出
- ・高齢者による島情報の発信
- ・自治振興館などの有効活用
- ・老人クラブや高齢者事業団の育成と支援

#### ③高齢者の福祉の充実

- ・介護保険制度の意識啓発
- ・介護予防・生活支援事業（生きがいデイサービス事業など）の充実
- ・介護保険サービス事業の強化
- ・買い物請負サービスの推進
- ・在宅介護支援サービス事業の充実
- ・地域への訪問介護サービスの充実
- ・介護施設の病床の確保

### 2. 地域福祉を進める

#### ①高齢者や障害者などが健康で安心して過ごせ、いきがいのもてる地域福祉推進体制の確立

- ・社会福祉協議会や福祉団体の体制強化や支援
- ・町民福祉意識の向上
- ・檜山管内各市町村と情報交換によるネットワークの構築
- ・地域見守り意識や補助システムの構築
- ・町民の近所の助け合い意識の醸成や見守り体制づくり

#### ②人材の確保と育成

- ・地域福祉に貢献する育成体制の構築
- ・若年者向けの介護養成講座の促進
- ・介護や福祉に関わる雇用の促進

#### ③公共施設や、地域環境のバリアフリー化の徹底

- ・今後の新規建設施設への義務づけ
- ・既存施設の改善促進

### 3. 障がい者福祉を進める

#### ①障がい者への全般的な援護体制の整備

- ・ 公共施設などでの障がい者利用を考慮した設備の充実
- ・ 障がいの未然防止対策の充実
- ・ スポーツ大会などを通じた社会参加の拡大
- ・ 障がい者組織への支援を担うボランティアの育成
- ・ 障がい者の社会進出の推進
- ・ 障がい者の雇用促進を図るとともに、在宅援護体制の充実

### 4. 児童・ひとり親家庭への福祉対策を進める

#### ①児童・ひとり家庭への援護体制の整備

- ・ 「新おくしり子どもプラン」に基づいた施策の推進
- ・ 延長保育事業の推進などの保育機能の充実
- ・ 子供達が安心して遊べる公園の検討
- ・ 子育て支援の充実（相談・指導など）
- ・ 社会福祉協議会や福祉団体の体制強化や支援（再掲）
- ・ 児童虐待防止の強化
- ・ 発達障がいを持った児童に対する支援体制づくり
- ・ 育児休業制度の積極的導入と制度活用の体制づくり

### 5. 生活の安定を図る

#### ①低所得世帯への援護体制の整備

- ・ 各種福祉資金制度の周知と有効利用の指導
- ・ 社会福祉協議会、民生委員、ケースワーカー、保健師、医療機関・町内会との連携による相談体制や内容の充実

#### 【 町民・地域の取り組み 】

- 地域福祉に対する意識を高め、町民同士の支えあいを大切にします。
- 介護ヘルパー養成講座などに積極的に参加します。
- 生きがいにつながるコミュニティ活動やコミュニティビジネスに取り組みます。

### (3) 保健・健康づくり

#### 1. 保健体制を整える

##### ①健康増進に必要な情報の収集・提供

- ・町広報紙などを活用した国保制度や医療費適正化推進のための意識啓発
- ・各ガン検診及び各種健診などの受診率向上促進
- ・町民の健康づくり意識の啓発

##### ②健康づくりの推進と支援

- ・町民が自分の健康について自覚し、適切な行動がとれるよう支援
- ・奥尻町の自然景観を活用した健康づくりプログラム
- ・保健・福祉・医療の連携強化
- ・働き盛り世代の健康づくり強化
- ・特定健診・特定保健指導の充実
- ・各種ワクチン接種の推進
- ・妊産婦及び新生児・乳幼児、就学児童等に対する継続した支援

#### 【 町民・地域の取り組み 】

- 自分の健康は自分で守るという意識を高め、自らの健康づくりを進めます。
- 健康づくりプログラムに参加し、健康維持に取り組みます。

### (4) 防災

#### 1. 防災体制の整備を図る

##### ①防災意識の啓蒙のための防災訓練の実施

- ・防災訓練の開催規模の見直しと定期的な実施

##### ②地域防災計画の見直し・改定

- ・国および道の基準の改正・指導に基づく見直し・改訂

##### ③防災体制の拠点としての空港維持管理及び港湾・漁港の有効活用

- ・町民の避難や救援物資の搬送の拠点の有効活用
- ・港湾及び青苗漁港の耐震岸壁の有効活用

##### ④防災・行政無線の有効活用

- ・町民ニーズに沿った防災・行政無線の有効活用を図る
- ・老朽化した防災無線センターの改修

##### ⑤国民（町民）保護の推進

- ・緊急告知装置の整備促進

#### 2. 治水・治山・海岸保全の整備を図る

##### ①急傾斜地の予防治山と崖崩れや土砂流出など災害跡地復旧対策の体制づくり

- ・急傾斜地の予防治山事業促進
- ・保安林の指定面積の拡大

##### ②水門の維持管理と人的被害を防止する体制づくり

- ・町単独事業として補修
- ・水門の管理上土砂の撤去を定期的実施

### ③海岸保全の充実

- ・港湾海岸の整備を検討
- ・高波に対応した離岸堤やブロック設置等整備の推進
- ・未整備海岸の点検及び整備促進

### ④河川の維持管理

- ・鳥頭川、白水川、球浦川の河川高潮対策の維持管理
- ・青苗川水系の河川砂防の維持管理

#### 【 町民・地域の取り組み 】

- 日々の防災の意識を高めます。
- 行政や関係機関からの防災に関する情報を収集します。

## (5) 消防・救急

### 1. 消防・救急体制の整備を図る

#### ①救急体制の充実

- ・救急へり要請を円滑にする関係機関との連携強化

#### ②消防体制の充実

- ・消防車などの維持管理

#### ③水難救難所体制の充実

- ・体制づくりの強化
- ・救難所員の増強と訓練の強化

#### 【 町民・地域の取り組み 】

- 消防や救急など緊急時に備えた意識を高めます。

## (6) 交通安全

### 1. 交通安全を進める

#### ①自動車の整備促進

- ・自動車整備工場の更新
- ・自動車整備に必要な新設備機器の導入と充実
- ・職員の知識・技術の向上及び若い技術者の確保・育成

#### ②安全意識の向上

- ・街頭指導および意識啓発などの運動の展開、指導体制の強化
- ・子供、高齢者、ドライバーの交通安全教育の推進

#### 【 町民・地域の取り組み 】

- 自動車の定期的な点検により安全性を高めます。
- チャイルドシートの貸出制度や交通安全講座などを利用して交通安全に努めます。



## （１）居住環境

### 1. よりよい住まいづくりを進める

#### ①時代に対応した公共住宅の維持管理

- ・公営住宅等長寿命化計画により住宅の長寿命化を推進
- ・老朽化した公営住宅等ストックの効率的かつ円滑な更新による有効活用

#### ②地域に根ざした住まいづくりの推進

- ・高い防潮堤内に住む人の違和感解消のための施設検討
- ・塩害に強い樹木の植樹

## （２）公園

### 1. 公園の維持管理

#### ①奥尻町の特性を活かした公園づくりと維持管理

- ・防潮堤の公園としての利用
- ・自然環境を活かした公園の維持管理
- ・公園維持管理への町民参加の促進

#### 【 町民・地域の取り組み 】

- 地域による公園の維持管理を進めます。

## （３）道路・交通機関

### 1. 道路網の整備を進める

#### ①道道の整備

- ・道道の整備拡張と既存施設の修繕及び改良の推進
- ・道道の維持管理の充実や防災対策の推進

#### ②町道の整備

- ・町道の適切な維持管理
- ・橋梁長寿命化修繕計画を作成し、橋梁の長寿命化を推進

#### ③維持管理設備の充実

- ・草刈り機など道路維持管理に必要な設備の充実

### 2. 港湾の整備を進める

#### ①港湾の整備及び維持管理の推進

- ・計画的な港湾の維持管理
- ・マリンタウンプロジェクトによる港湾の整備及び維持管理

#### ②海上航路の整備

- ・新規航路の確立
- ・大型船、高速船の就航要請
- ・せたな航路の通年運航化の要請
- ・フェリーの運賃格差の是正の要請
- ・既存海上航路の維持

### 3. 空港の整備を進める

#### ①空港の計画的な活用の推進

- ・就航率向上に向けた計器着陸装置（ILS：Instrument Landing System）導入の要請
- ・民間小型航空機（自家用機）の発着増加に向け、全国地方空港への情報発信と連携強化

#### ②航空路の整備

- ・運賃補助の継続
- ・輸送幹線ネットワークの強化として新千歳-奥尻便の就航要請
- ・利用者の増加に伴う奥尻-函館間の増便要請

#### ③空港の有効活用

- ・町民に親しまれる空港利用の検討

### 4. 島内交通機関の整備を進める

#### ①バス路線の整備

- ・地域住民のニーズによるバス路線の整備・維持
- ・バス老朽化に伴う代替購入
- ・環境対策に寄与したバスの導入を検討
- ・車両の島内メンテナンスを推進する設備の充実
- ・フェリー発着に合わせたバス接続便の整備
- ・病院利用に合わせたバス路線の整備
- ・デマンドバス導入の検討

#### 【町民・地域の取り組み】

- 低炭素社会の観点からも、島内の公共交通機関を積極的に利用します。

## （4）上下水道

### 1. 簡易水道の整備を進める

#### ①安定した水の供給

- ・東風泊地区、谷地地区の簡易水道への移行計画の推進
- ・水道統合計画に基づいた老朽化施設の改修・整備

### 2. 下水道の整備を進める

#### ①計画的な下水道の整備推進

- ・下水道の長寿命化計画の推進
- ・下水道処理区域の延長（東風泊地区）
- ・下水道利用の推進

### 3. 合併浄化槽の整備を進める

#### ①下水道未整備地区へのトイレの水洗化及び汚水処理の推進、合併処理槽の推進

- ・合併浄化槽によるトイレの水洗化及び汚水処理の推進
- ・循環型社会形成推進基本計画に基づいた整備の推進

#### 4. し尿処理施設の整備を進める

##### ①施設の整備

- ・老朽化した施設の整備
- ・下水道との合併処理計画の推進

#### (5) 高度情報化

##### 1. ICT を活用した情報発信を進める

###### ①ICT を利用した情報発信

- ・ホームページの内容の定期的更新
- ・インターネットによる特産品の販売促進
- ・観光情報の充実と PR のほか、観光ニーズ調査としての活用促進
- ・移住希望者への受け入れ情報の発信
- ・フェリー、飛行機のリアルタイム速報の普及

###### ②ICT の活用促進

- ・町民のインターネットの利用の普及啓発
- ・講座などによる高齢者にもやさしい情報化への対応
- ・高齢者を含む町民の ICT 化による島情報発信のシステムの構築
- ・観光、商工従事者のインターネット利用の促進
- ・インターネット普及に伴うハイテク犯罪やウィルス対策の推進

##### 2. ICT の多分野での活用により生活の利便性を高める

###### ①各分野での ICT の活用促進

- ・学校教育における ICT 化
- ・ICT 導入活用による医療・福祉サービスの充実
- ・ICT を活用した「おくしりブランド」の販路拡大
- ・島内各集落への各種行政サービスの普及・利便性の向上

###### 【町民・地域の取り組み】

- インターネットを活用して島外や国内、海外とのつながりを図ります。
- 子どものネット犯罪などへの対策に備えます。
- 町民自らのツイッターなどを活用した観光 PR を進めます。

#### (6) 葬斎場・墓地

##### 1. 葬斎場・墓地の整備を進める

###### ①墓地環境の整備

- ・葬斎場の改修の検討
- ・葬斎場周辺の美化
- ・既存墓地の整備統合

###### 【町民・地域の取り組み】

- 墓地周辺の美化活動に取り組みます。

## （１）子育て

### 1. 安心して子育てできる環境を整備する

#### ①安心して出産できる環境の整備

- ・ 出産や子育てに関わる適切な情報提供と経済的負担への支援
- ・ 妊娠中・産後の健康管理の充実

#### ②奥尻町で子どもを育てられる支援体制づくり

- ・ 新おくしり子どもプランに基づいた子育ての推進
- ・ 子育て支援に関するネットワーク構築やサークル活動の推進
- ・ 子どもの遊び場、たまり場の創出や地域活動参加の支援

#### ③島ぐるみでの子育て支援サービスの充実

- ・ 支援を必要とする子どもや家庭への支援充実
- ・ 育児休業制度が活用できる体制づくり
- ・ 保育機能とサービスの充実
- ・ 認定こども園（仮称）に対応した入所料金の見直しと人材確保
- ・ 子育て相談所の設置

#### ④地域による子どもの見守り体制づくり

- ・ 子育て支援における高齢者の参加促進
- ・ 子育て支援に関するネットワーク構築やサークル活動の推進

#### 【 町民・地域の取り組み 】

- 地域での子育て体制やネットワークを構築します。
- 子育て相談などを積極的に活用します。

## （２）教育

### 1. 離島教育の振興による英知と想像力に富んだ人づくりを進める

#### ①島ならではの離島教育の振興

- ・ 離島教育を推進するための仕組みづくりと意識改革
- ・ 幼・小・中・高の教育体系の一貫教育の推進
- ・ 保護者、教職員、地域との連携強化
- ・ 情報通信技術による島外学校との交流・連携強化
- ・ 地域への誇りや愛着を育む郷土の歴史・風土・文化の教育プログラムの構築
- ・ 島でしか学ぶことができない体験学習などの教育内容の充実

#### ②就学前教育の振興

- ・ 奥尻幼稚園の施設改修を含めた環境整備
- ・ 子ども発達支援センター機能の充実
- ・ 認定こども園（仮称）に対応した教育機能の充実と職員の育成・確保
- ・ 開かれた園づくりのための地域・近隣小学校との交流・連携
- ・ 児童の健全育成を図るための公園・遊び場などの整備促進

### ③小・中学校教育の振興

- ・小・中学校の適正配置と統合計画の検討
- ・統合跡地の有効活用の検討
- ・老朽化した学校施設の更新
- ・各学校の教育環境の整備充実
- ・学校図書の実充
- ・ICT教育への対応の迅速化
- ・いじめ・不登校児童の相談窓口の開設

### ④高等学校教育に対する地域に根ざした振興の要請

- ・産業実習や取材活動の展開
- ・生涯学習体系と高等学校教育方針の連動化の推進
- ・教育資材・教育機器などの更新整備
- ・地域活動への参加機会拡充
- ・特色ある高等学校教育活動の実践

## 2. 生涯学習・社会教育の振興を図る

### ①ふるさとに心が向く奥尻町らしい魅力ある社会教育の推進

- ・町ぐるみの生涯学習の推進・各種講習会などの実施（出前講習会など）
- ・豊富な人生経験を有する高齢者と子どもたちの交流の促進
- ・地域の特色を生かした社会教育の推進
- ・文化財を活用した郷土学習の積極的推進

### ②長期的計画に基づいた生涯学習の段階的推進

- ・異世代とのふれあい交流事業の推進
- ・学校および関係機関・団体との連携協力体制の強化
- ・研修会・活動機会の充実
- ・学習援助・協力者の発掘と指導者の育成および専門職員の充実
- ・学習情報の収集・提供の検討と相談体制の整備
- ・海洋研修センターなどの学習や発表の場の確保

## 3. いきがいづくり・健康づくりにつながるスポーツの振興を図る

### ①生涯スポーツ振興計画の策定と効率的な実施

- ・地域の団体やグループ、サークルの育成と活動の支援・援助
- ・スポーツの生活化を図る事業の推進
- ・地域の特性を生かした各種ニュースポーツの導入
- ・指導者の育成及び専門職員の充実
- ・町民のニーズに応えた施設などの整備

#### 【町民・地域の取り組み】

- 子どもの地域での教育に積極的に参加します。
- 生涯学習に積極的に参加します。
- 子どもの地域コミュニティ活動への参加を促進します。
- 健康づくりの観点からも、スポーツ活動に参加します。

### (3) 歴史文化

#### 1. 地域に根ざした芸術文化活動を進める

##### ①町民の芸術文化の参加、鑑賞機会の充実

- ・自然と歴史を活かした芸術文化活動の推進
- ・町民参加による各種発表機会などの推進

##### ②文化財を通じた生涯学習の推進

- ・文化財の保護と普及啓発活動の促進
- ・学校や地域での教材としての文化財の活用
- ・観光客や来町者が島の文化に触れることのできる機会の充実

#### 2. 新たな地域社会文化を築く様々な社会活動などの奨励を図る

- ・スポーツ少年団などの活動の育成と支援・援助
- ・休日の拡大などに対応した学校外活動の拡充・促進
- ・学校活動の連携による各種社会活動の充実
- ・地域伝承技術や伝統的手法の発掘・継承

#### 3. 指導者養成を進める

- ・地域人材の発掘と活動の推進
- ・指導者育成のための研修機会の充実

#### 4. 島資源の見直しと活用を進める

- ・食文化や生活文化などの見直しと活用

##### 【町民・地域の取り組み】

- 奥尻の歴史文化を学び、地域の伝統文化を受け継ぎ、次世代に伝えていきます。
- 各種芸術文化の鑑賞機会などに参加します。

## （１）地域コミュニティ

### 1. ふれあい豊かなコミュニティづくりを進める

#### ①奥尻三大祭への参加促進

- ・地域イベントとしての内容の充実と町民の積極的な参加の促進
- ・行政と町民の協働による開催体制の構築

#### ②新たなコミュニティ活動の推進

- ・花いっぱい運動や資源リサイクル運動などの環境美化活動の推進
- ・子育て支援や歴史文化の伝承など高齢者の知識や経験を活かした活動の推進
- ・島外・海外からの観光客へのおもてなし活動や受け入れ活動の推進
- ・町民による奥尻町の魅力づくり活動の推進
- ・新たな町民や起業者を支える交流活動の推進

#### ③町民が支えあう仕組みと機会の充実

- ・多世代の町民が集い交流する場の創出
- ・町民一人ひとりの支えあいの意識向上と活動促進

#### ④複合型公共施設の積極的活用

- ・各自治振興会館などの積極的活用
- ・海洋研修センターの積極的活用
- ・施設活用プランの充実

#### 【町民・地域の取り組み】

- 地域の行事やお祭りに積極的に参加します。
- 各種サークル活動や地域コミュニティ活動に参加し交流を図ります。
- 既存の交流拠点を積極的に活用します。
- 顔の見える近所付き合いを進めます。

## （２）町民参加のまちづくり

### 1. まちづくりへの町民の積極的参加を図る

#### ①多様なまちづくり参加と自治活動の活性化

- ・町民が参加するまちづくり活動の機会の多様化
- ・まちづくりに対する町民の積極的な参加の啓発
- ・多世代交流を促進する体制づくりによる越えた人間的な交流の促進
- ・町職員退職者のまちづくりへの参加促進

#### ②情報の公開と個人情報の保護

- ・情報公開条例に基づく行政情報の公開の促進
- ・個人情報保護条例に基づく個人情報の保護

### 2. 多様な方法による行政情報の公開

- ・公報公聴活動の活発化
- ・広報紙内容の充実によるきめ細かい行政情報の提供の継続
- ・ホームページによる情報公開の機能付加の充実（ブログやツイッター）

### 3. 行政と町民の対話・意見交換の場づくり

#### ①多様な世代の町民意見の把握する機会の創出

- ・町職員との日常的な対話の体制づくり
- ・地区懇談会・計画説明会等の充実

#### ②町民自らがまちづくりを考える機会の充実

- ・まちづくりに関するフォーラムや勉強会、ワークショップの開催

### 4. まちづくりの担い手の育成

#### ①地域の組織や産業団体の活動活発化

- ・まちづくり活動に取り組む団体を支援する体制づくり

#### ②人材育成・人的交流の促進

- ・まちづくりを担うリーダー的人材の育成と研修機会の充実
- ・町民が主体となったまちづくり会議（仮）の組織づくり
- ・全町的イベントを通じた世代間交流機会の創出
- ・次世代への伝統芸能や伝統技術などの伝承による人材育成の推進
- ・多様なまちづくり活動や団体のネットワークの構築

#### 【町民・地域の取り組み】

- まちづくりの様々な機会に積極的に参加します。
- 町民自らがまちを考え、まちづくり活動を実践します。
- 世代間交流やまちづくりのネットワークを広げます。

## （3）行政・財政

### 1. 合理化・効率化のための仕組みづくり

#### ①行政執行方法の合理化

- ・各課毎の内部検討
- ・庁舎全体での集約的検討

#### ②機能的・能率的な行政組織の編成

- ・効率的な職員配置
- ・既存組織体制の見直し・再編

#### ③横断的な業務遂行体制の確立

- ・定期的な庁舎合議制度の充実
- ・プロジェクトチーム制度の導入

### 2. 機能的な庁舎環境づくり

#### ①庁舎の更新と機能強化

- ・老朽化に伴う庁舎の建て替えの検討

#### ②情報化への対応

- ・ICTへの対応促進

#### ③効率的な部署配置

- ・各種行政サービス窓口の一元化
- ・行政改革プランに沿った適正化プランの維持



### 3. 職員の資質向上

#### ①職員の意識改革

- ・行政職員としての自覚に基づく自己管理の徹底
- ・担当業務に対する責任とやり甲斐の認識
- ・専門分野に対する向上心の醸成と自己研磨

#### ②適正な人材育成のための研修の充実

- ・職員研修の内容充実
- ・他市町村・道庁などとの人事交流

#### ③地域活動への職員参加促進

- ・地域住民としての自発的参加の推奨
- ・町職員としての協力参加に対する行政内部の組織的支援

### 4. 広域行政組合・観光物産公社との連携活動の強化

- ・人事交流の活用
- ・広域的組織内における役割分担の明確化
- ・連携型プロジェクトの具体的展開の促進

### 5. 対岸市町村との連携体制の強化

- ・定期懇談会の開催
- ・持ち回り交流イベントの企画展開

### 6. 自己評価システムの導入への取り組み

- ・施策評価に関する行政内部検討プロジェクトチームの立ち上げ
- ・客観的評価手法の検討と施策・事業・事務の各分野に対する評価の試行
- ・導入可能な自己評価項目による評価マニュアル策定の検討
- ・評価検討成果の見える化

### 7. 財政の健全化・安定化

#### ①財政健全化計画の目標達成

- ・経常収支比率の改善
- ・起債制限比率の改善
- ・公債負担比率の抑制

#### ②経営の簡素合理化

- ・物件費・扶助費・補助金などの適正化
- ・事務事業の見直し
- ・定員管理及び給与の適正化

#### ③町民の税等の収納率の向上

#### ④ふるさと納税の活用

## 8. 発展計画の進行管理の実施

### ① 進行管理のための庁内横断的組織の設置

- ・ 進行管理の基本条件の検討
- ・ 検討に基づく計画・施策・事業等の修正・改善の実施

#### 【町民・地域の取り組み】

- 広報などの情報をしっかり確認します。
- 納税などの負担義務を果たします。

IV

戦略

プロジェクト

おくしリズム

プロジェクト

## 「おくしりブランド」儲かる島プロジェクト（産業・資源保全）

「おくしりブランドづくり」では、現在進めているおくしりブランドの強化と、ブランドとしての確立を目指し、加工場の整備で島内生産を進めます。「販売流通対策の仕組みづくり」では、生産から販売までを一貫して行う仕組みづくりと、新鮮な奥尻町の食材を島内で流通させる体制と仕組みづくりを行います。

「観光と連携した体制づくり」では、おくしりブランドと連携しながら観光体験メニューづくりと PR を行います。これらを推進するため、必要に応じて官民が連携したプロジェクトチームを組織します。

「資源の保護活動」は、主に水産物の養殖体制を積極的に活用することで、生産性の向上と合わせて資源の維持を行います。森林については、島内に水を供給するだけでなく、海洋資源の充実にも影響を与えていることから、適切な維持管理を行います。

### ●おくしりブランドづくり

- ・農水産物を活かした「おくしりブランドづくり」の強化
- ・地域伝承技術の継承を通じた新たなブランドづくり
- ・生産加工場の整備
- ・異業種ネットワークの構築

### ●販売流通対策の仕組みづくり

- ・生産・加工・販売を一括管理する仕組み
- ・島内流通方法の確立
- ・直販システムの強化・拡大
- ・高付加価値化販路の拡大

### ●観光と連携した体制づくり

- ・おくしりブランドと連携した体験観光メニューづくり
- ・水産・農畜産物の積極的な PR
- ・官民連携のプロジェクトチームの結成

### ●資源の保全活動

- ・あわび種苗育成センターの活用
- ・漁港の階層的利用による養殖
- ・アワビ・ウニ・ナマコの生産
- ・水源かんよう林育成

## 人が人を呼ぶ交流プロジェクト（観光・交流）

「奥尻町の魅力づくり」では、自然環境を活かした体験プログラムを充実させ、おくしりブランドとの連携した観光体験メニューづくりを進めます。また、町民による奥尻町の魅力さがし活動を行うことで、新たな魅力の創出と町に対する愛着を育てます。

「観光客の受け入れ体制づくり」では、接客サービスの充実を基本に、リピーター獲得につなげるための観光リサーチとその情報を蓄積するデータベース化を進めます。

「観光に関わる人づくり」では、町民の観光に対するおもてなしの心を養い、人材育成を行います。観光客に対する観光意向調査などにも取り組める組織づくりも進めます。

「地域間交流づくり」では、戦略的な観光振興を行うため、ターゲットを絞った売り込み方策を展開し、各自治体との連携を深めながら、交流事業への発展を推進します。また、国際交流や外国人観光客も視野に入れ、町民の語学講座を展開します。

### ●奥尻町の魅力づくり

- ・自然環境や海の魅力を活かした体験プログラムの強化
- ・奥尻町魅力さがし活動
- ・奥尻地域マリビジョンの推進
- ・おくしりブランドと連携した体験観光メニューづくり

### ●観光客の受け入れ体制づくり

- ・接客サービスの向上・充実（町民・宿泊施設の「おもてなし運動」）
- ・観光案内情報の発信強化
- ・宿泊施設や交通インフラの整備・充実
- ・リピーター獲得のための観光客のリサーチとデータベース化

### ●観光に関わる人づくり

- ・観光に関わる人材育成の体制づくり
- ・観光ホスピタリティの向上
- ・異業種とのネットワーク
- ・新たな観光組織づくり

### ●地域間交流づくり

- ・ターゲットを絞ったしま観光の売り込み
- ・檜山・道南管内各町との連携を深めることによる交流事業の推進
- ・外国人観光客の受け入れ体制づくり
- ・道内各空港との連携強化

## 島くらし安心・充実プロジェクト（離島医療・地域福祉）

離島という立地条件を踏まえ、「島内完結型の医療体制づくり」を外科的総合医を充実させるなどして進めます。緊急救急医療に対応した医療機器の導入や終末医療体制の整備を進めます。また、最新医療機器の整備することにより、島外からの滞在型の治療や人間ドックなどに対応できるようにします。

「地域に根付いた医療サービスづくり」では、町民の細やかな健康管理を推進するため、医師と町民が直接コミュニケーションを図ることができる機会を設けます。

「保健・健康づくり」では、病気にかからない体づくり（日常的な健康管理）、病気とうまくつきあう暮らしなど健康を維持できるように、町の自然環境や食とも連携し、健康意識を充実させながら取り組みを推進していきます。

「まちの安心づくり」は、島ぐるみの推進体制をとり、子育て支援サービスや高齢者の活動機会を充実させることから地域福祉を充実させます。地域同士のつながりを活かして、日常から防犯体制も整えます。

### ●島内完結型の医療体制づくり

- ・外科的総合医を中心とした島内完結型医療の推進
- ・緊急医療体制の充実を図る最新医療機器の整備
- ・終末医療の体制整備
- ・リハビリテーション体制、滞在型人間ドックの推進
- ・医療技術者の安定確保を推進する体制の整備

### ●地域に根付いた医療サービスづくり

- ・医師と町民のコミュニケーション機会の充実
- ・町内会へ出張健康診断の充実

### ●保健・健康づくり

- ・保健・福祉・医療の連携強化
- ・健康づくりプログラムの推進
- ・病気にかからない体づくり、病気とうまくつきあう暮らし
- ・各種検診の受診向上
- ・おくしりブランドと連携した食の健康づくり

### ●まちの安心づくり

- ・保健医療体制の充実
- ・高齢者活動の場の提供・充実
- ・島ぐるみの子育て支援サービス
- ・地域の子供見守り体制の構築
- ・地域同士のつながりを生かした防犯体制の確立

## 町民だれも輝くまちプロジェクト（町民参加・文化）

「町民参加の仕組みづくり」では、町民が主体となった組織づくりを進め、ネットワークを広げることで、子育てや歴史・文化・風土の伝承など様々な場面で町民が参加できる仕組みをつくります。

「輝く人づくり」は、グローバル化が進む中で高齢者の ICT への対応を進めます。また、まちづくりリーダーの発掘と観光ボランティアガイドの育成も行います。その際は、学校教育と連携しながら人材育成プログラムを進めます。

「町民が活躍する場づくり」では、水産加工場の整備により島内雇用を増加させ、島の良質な食材を使った郷土料理教室を開き、将来的なブランド化につながる取り組みを進めます。このような取り組みは、活動発表の機会に発信していくほか、町民自らの発信（ブローガー育成）で情報 PR を拡大させていきます。

### ●まちの安心づくり

- ・町民主体のまちづくり会議（仮）の組織づくり
- ・多様なまちづくり活動や団体のネットワーク構築
- ・高齢者が子育て支援や歴史・文化・風土の伝承などに参加できる仕組みづくり

### ●輝く人づくり

- ・高齢者の ICT 化
- ・リーダー人材の発掘と育成
- ・子どもへの島の歴史・文化・風土の教育推進
- ・観光ボランティアガイドの育成
- ・学校教育と連携した地域福祉を支える人材育成プログラム

### ●町民が活躍する場づくり

- ・町民が参加するまちづくり活動の機会の充実
- ・水産業や農畜産業と連携した加工場の整備
- ・町民による語り部講習や島の郷土料理のレシピ開発などの推進
- ・ICT を活用した町民による情報発信の推進（町民ブローガー育成）
- ・サークル活動などの町民の活動の発表の機会の創出

## 高齢者の生きがいと絆を育むまちプロジェクト（地域コミュニティ・高齢者雇用）

「地域コミュニティづくり」では、高齢者が気軽に集まり井戸端会議などを行うことができる場を整備し、地域コミュニティの拠点とします。また、町民一人ひとりの支えあいや助け合いの意識を高め、町民による地域コミュニティを強化します。

「高齢者の生きがいづくり」は、元気なお年寄りたちが活躍できる活動の拠点を提供し、ワザを活かしたコミュニティビジネスの展開を推進するとともに、高齢者の雇用機会を創出する体制づくりを行います。

「高齢者の見守り体制づくり」では、顔の見える関係が充実している奥尻町ならではの特性を活かした見守り体制づくりを進めます。さらに、継続して体制を維持できるように、中高生向けの介護講座などを福祉に関わる人材育成・雇用体制の整備につなげていきます。サービス面では、移動が不自由な高齢者に対応した訪問介護サービスを充実させます。

### ●地域コミュニティづくり

- ・ 高齢者が集い交流する場の整備
- ・ 地域ケア会議（仮）の確立充実
- ・ まちづくり活動の開催
- ・ 高齢者の子育て参加

### ●高齢者の生きがいづくり

- ・ 高齢者の生きがいにつながるコミュニティ活動の拠点づくり
- ・ 農水産物を使ったコミュニティビジネスの推進と展開
- ・ 高齢者の雇用機会を推進する体制づくり
- ・ ICTを活用した高齢者の島情報発信
- ・ ワザを持った高齢者の雇用

### ●高齢者の見守り体制づくり

- ・ 地域コミュニティによる高齢者見守り体制の構築
- ・ 地域福祉に携わる育成体制の構築
- ・ 中高生向けの介護養成講座の促進
- ・ 介護関係の雇用促進
- ・ 訪問介護サービスの充実（買い物・在宅介護）



付属資料

## 1. 諮問文および答申文

---

### 諮問文

奥 地 政  
平成 22 年 11 月 11 日

奥尻町総合開発計画審議会  
会長 永 洞 博 様

奥尻町長 新 村 卓 実

#### 新奥尻町総合開発計画について（諮問）

新奥尻町総合開発計画の策定にあたり、奥尻町総合開発計画審議会条例第 2 条に規定に基づき、奥尻町の均衡ある発展と住民福祉の向上を図るため、新奥尻町総合開発計画の策定を諮問します。

#### 記

1. 計画期間 平成 23 年度(2011)から平成 32 年度(2020)
2. 策定内容 基本構想・基本計画

平成 23 年 3 月 1 日

奥尻町長 新 村 卓 実 様

奥尻町総合開発計画審議会  
会長 永 洞 博

第 5 期奥尻町発展計画について（答申）

平成 22 年 11 月 11 日付け奥地政により貴職から諮問された「新奥尻町総合開発計画（第 5 期奥尻町発展計画）」について、当審議会は奥尻町総合開発計画審議会条例第 2 条の規定に基づき、これまで慎重に審議を重ねてまいりました。

その結果、基本構想及び基本計画内容についてはおおむね妥当であると認め、この旨答申します。

なお、審議過程において次の意見が報告されましたので、本計画の実施にあたっては十分配慮されるよう要望いたします。

記

1. 本計画は、町民の代表、町内各団体等の意見要望を反映したものであり、計画の趣旨と内容を分かりやすく町民に周知し、広く町民の理解と協力を求め、町民参画と協働によるまちづくりを推進していただきたい。
2. 本計画策定にあたっての町民アンケートの結果から、これまでの計画は多くの町民に認知されてなく、町民に対し希薄なものとなっています。  
本計画の推進にあたっては町民との対話やワークショップの場などを積極的に設け町民との意思疎通を図るよう努めていただきたい。
3. 本計画の目標達成のため、本町の現状や社会的状況の変化を考慮しつつ、町内外と広く連携をとりながら、まちづくりのテーマである「人の絆と営みが織りなす幸せなおくしリズム」の建設を目指し、その具現化に最善の努力を図っていただきたい。
4. 実施計画の策定にあたっては、社会経済情勢などの変化を見極めつつ、財政事情を配慮の上、政策・行政評価（目標・成果数値の明示）の視点を入れ、町において適切かつ慎重な検討が行われるよう計画立案をしていただきたい。

## 2. 第5期奥尻町発展計画の策定経緯

年月日	会議など	協議事項など
平成22年 6月18日	第5期奥尻町発展計画 策定業務入札	・入札の結果、(株)KITABAと契約 (業務期間6月21日～平成23年3月 28日)
7月1日	打合せ会議	・計画策定におけるポイント整理 ・審議会・策定委員会などについて、ア ンケートについて、スケジュールにつ いて、など
8月4日	打合せ会議	・アンケートについて、審議会・策定委 員会について、基礎データの整理につ いて、など
9月	「新しい奥尻町発展計画 策定に関する町民アンケ ート」の実施	・配布1,497件、回収704件(回収率 47.0%) ・無効回答除く ※～10月8日集約
10月25日	各種統計データについて	・各関係機関へ依頼
11月10～12日	打合せ会議 庁内策定委員会(個別)	・庁内ヒアリング
11月11日	第1回奥尻町総合開発 計画審議会	・審議会委員の委嘱、会長・副会長選出、 奥尻町長から諮問 (出席者35名)
12月21日	第2回奥尻町総合開発 計画審議会	・町の現状と課題について、アンケート 結果について (出席者31名) ----- ・提案シートの提出について ※平成23年1月14日まで (提出委員6名)

年 月 日	会議など	協議事項など
平成 23 年 1 月 11～13 日	打合せ会議 インタビュー	・町長ヒアリング ・庁内ヒアリング
1 月 26 日	奥尻町総合開発計画 専門委員会	・各専門事項について、基本方針・基本 計画について、など (出席者 24 名)
2 月 7 日	庁内策定委員会	・計画素案全体について討議
2 月 10 日	第 3 回奥尻町総合開発 計画審議会	・計画案について (出席者 25 名)
2 月 23 日	庁内策定委員会	・計画案全体について討議
12 月 24～25 日	庁内ワークショップ	・計画の具体的展開についての講義、現 地調査、ワークショップ等による検討 (出席者 9 名)
3 月 1 日	第 4 回奥尻町総合開発 計画審議会	・計画案を町長へ答申 (出席者 30 名)

### 3. 奥尻町民憲章


---

わたくしたちは、緑ゆたかな神威の山と、幸多い日本海を友として、清くたくましく育まれた奥尻の町民です。

風雪に耐えて秘境をひらした先人の偉業をたたえ、恵まれた自然と郷土を愛し、みんなの力と創意をはたらかせ、誇りと責任をもち、希望に満ちた住みよい町づくりに努めます。

- 自然を生かし 環境をととのえ 美しい町にしましょう
- 力を合わせ 生産の工夫につとめ 豊かな町にしましょう
- きまりを守り 心とからだをきたえ 明るい町にしましょう
- たがいに学び 教養を高め みのりある町にしましょう
- 郷土を愛し 未来をひらく若い力を育て 伸びゆく町にしましょう



第5期奥尻町発展計画  
人の絆と営みが織りなす  
幸せな おくしリズム   
～島じかんが紡ぐみんなの笑顔～

発行日

2011年4月1日

発行

奥尻町

〒043-1498

北海道奥尻郡奥尻町字奥尻 806 番地

電話 (01397) 2-3111



# 奥尻町

〒043-1498

北海道奥尻郡奥尻町字奥尻 806 番地

電話 (01397) 2-3111